

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-6

<3週> インフルエンザ - 九州地方を中心に流行が広がりつつある / その他最新動向

<12月> 性感染症・薬剤耐性菌・結核について



注目すべき感染症  
P.7

<インフルエンザ> 2002年第3週の全国定点からの報告総数は15,768( 定点当たり報告数は3.4 )

<感染性胃腸炎> 2002年第3週の全国定点からの報告総数は25,896( 定点当たり報告数は8.57 )



病原体情報  
P.8

患者から分離・検出された病原体報告 - インフルエンザ / 感染性胃腸炎



速報  
P.9-11

2002年1月、仙台市におけるほぼ同時期の複数の型、および亜型のインフルエンザウイルス[ A(H1) , A(H3) , BおよびC型 ]混合流行の可能性について / 他



海外感染症情報  
P.12

セネガルの黄熱 / ガボンおよびコンゴ共和国のエボラ出血熱 - 更新 / コソボの野兔病 - 更新



感染症の話  
P.13-17

急性ウイルス性肝炎  
献血血液スクリーニングにより輸血によるB型肝炎、C型肝炎は大きく減少した。日本でまだ患者発生が多いA型肝炎、B型肝炎はワクチンによる予防が有効である。



読者のコーナー  
P.18



グラフ総覧(3週)  
P.19-25



グラフ総覧(12月)  
P.26-30



12月のデータ  
P.31-34



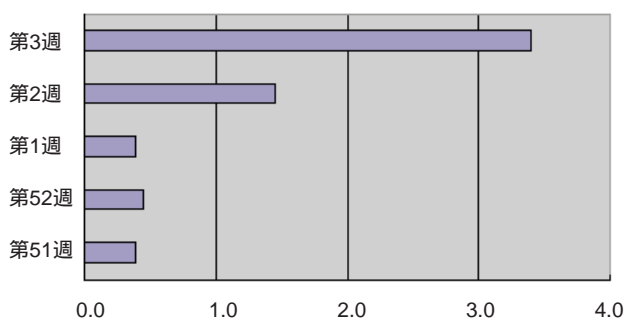
3週のデータ  
P.35-42



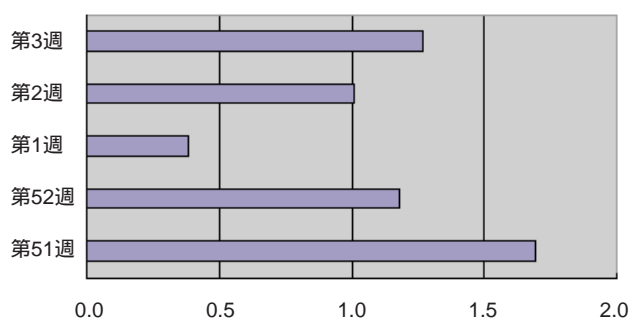
## 最近の注目疾患－5週間の動き

インフルエンザは前週に比べ定点当たり報告数は2倍以上に増加している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は2週連続で定点当たり報告数が増加した。感染性胃腸炎の定点当たり報告数はほぼ横ばいであり、水痘、流行性耳下腺炎は前週と比較して減少した。

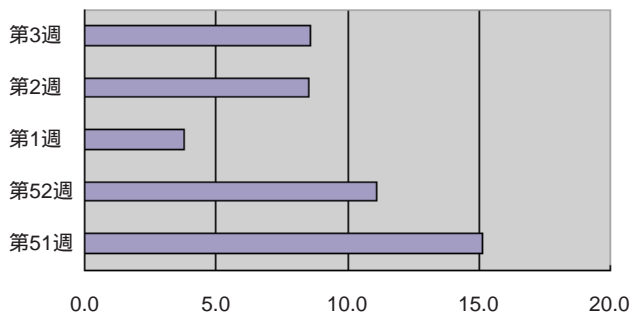
インフルエンザ



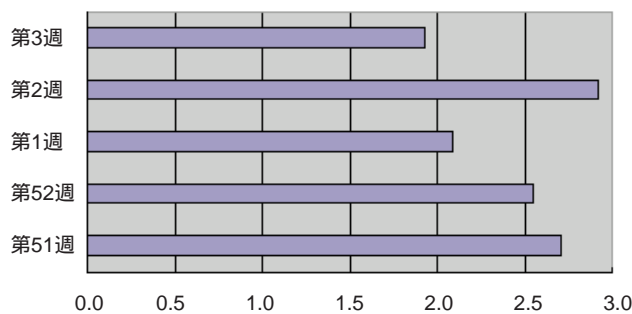
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



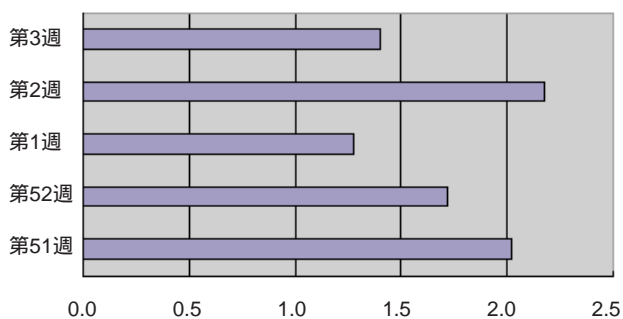
感染性胃腸炎



水痘



流行性耳下腺炎



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数( 報告総数/定点総数 )を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

## 12月コメント

### 性感染症について(1月11日集計分)

2001年12月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が3.51(男1.50、女2.00)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.84(男0.39、女0.44)、尖形コンジロームが0.44(男0.23、女0.22)、淋菌感染症が1.94(男1.62、女0.33)で、4疾病のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった。前月に比べ、男女ともに、いずれの疾病も減少または横ばいである(26～29ページグラフ総覧参照)。

定点当たり報告数を年齢階級別に比較すると、いずれの疾病でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では30～34歳にも多く、他の3疾病に比べ50代以降の高年齢層からの報告も少なくない。男女比は、性器クラミジア感染症(図1a)で1:1.33、性器ヘルペスウイルス感染症(図1b)で1:1.12、尖形コンジローム(図1c)で1:0.96、淋菌感染症(図1d)で1:0.20で、淋菌感染症では男性の占める割合が高い。いずれの疾病でも、若年齢層ほど女性の報告者数が多い傾向が認められた。(12月の性感染症定点総数は912)

感染症法が施行された1999年4月以降について、15～29歳の若年齢者層での各性感染症の男女別月別定点当たり報告数を図2に示した。男性においてはクラミジア感染症が減少、淋菌感染症が増加し、淋菌感染症が最も多い疾病となった。女性においては、両疾病とも前月に比べて減少している。

なお、各性感染症のグラフ総覧の月別定点当たり報告数の1999年3月と4月間で生じたギャップ、および本発生動向調査で得られる患者報告数の男女比については、本週報2000年第46号4ページを参照されたい。

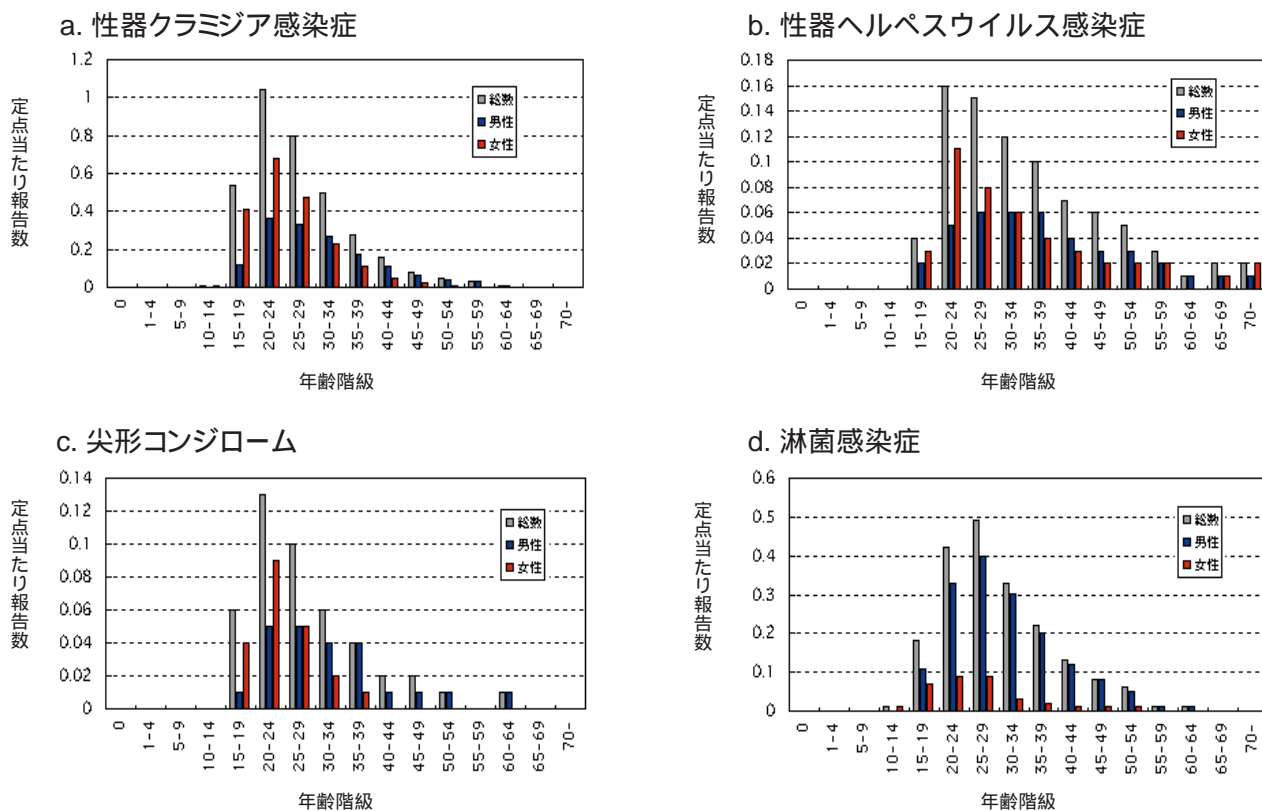
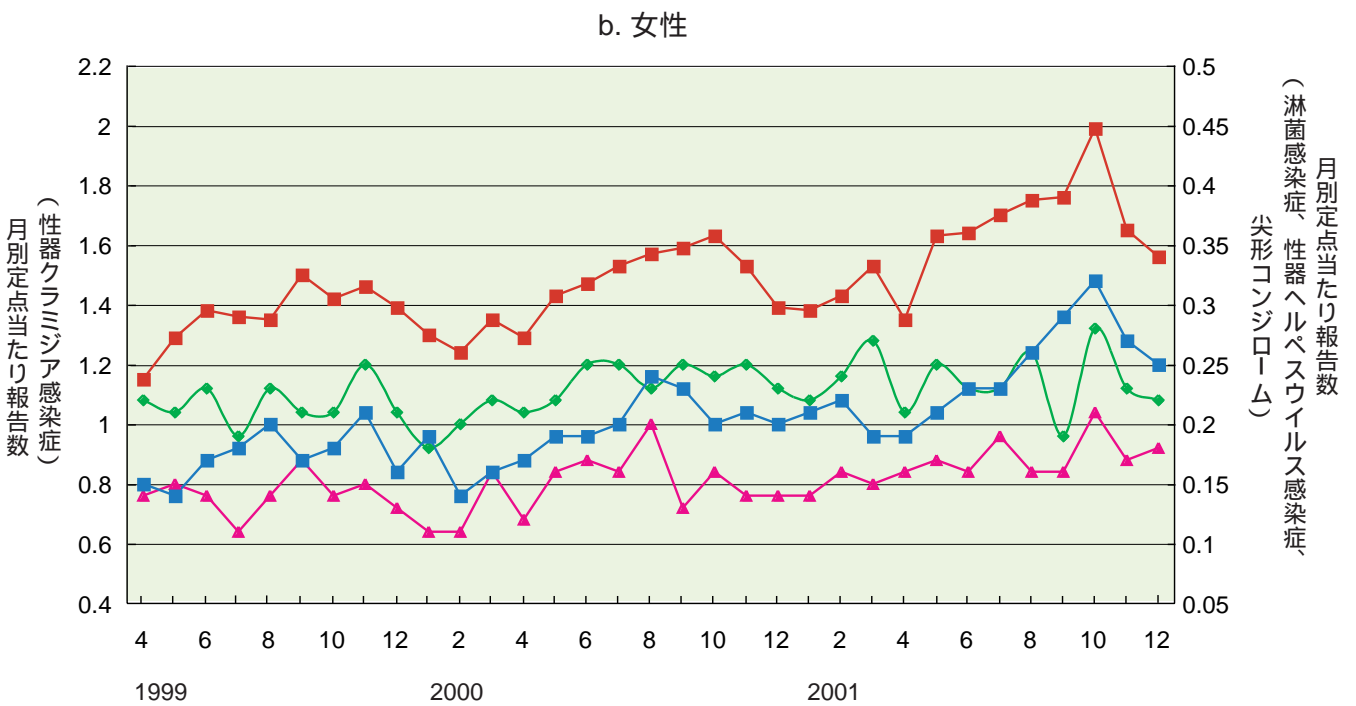
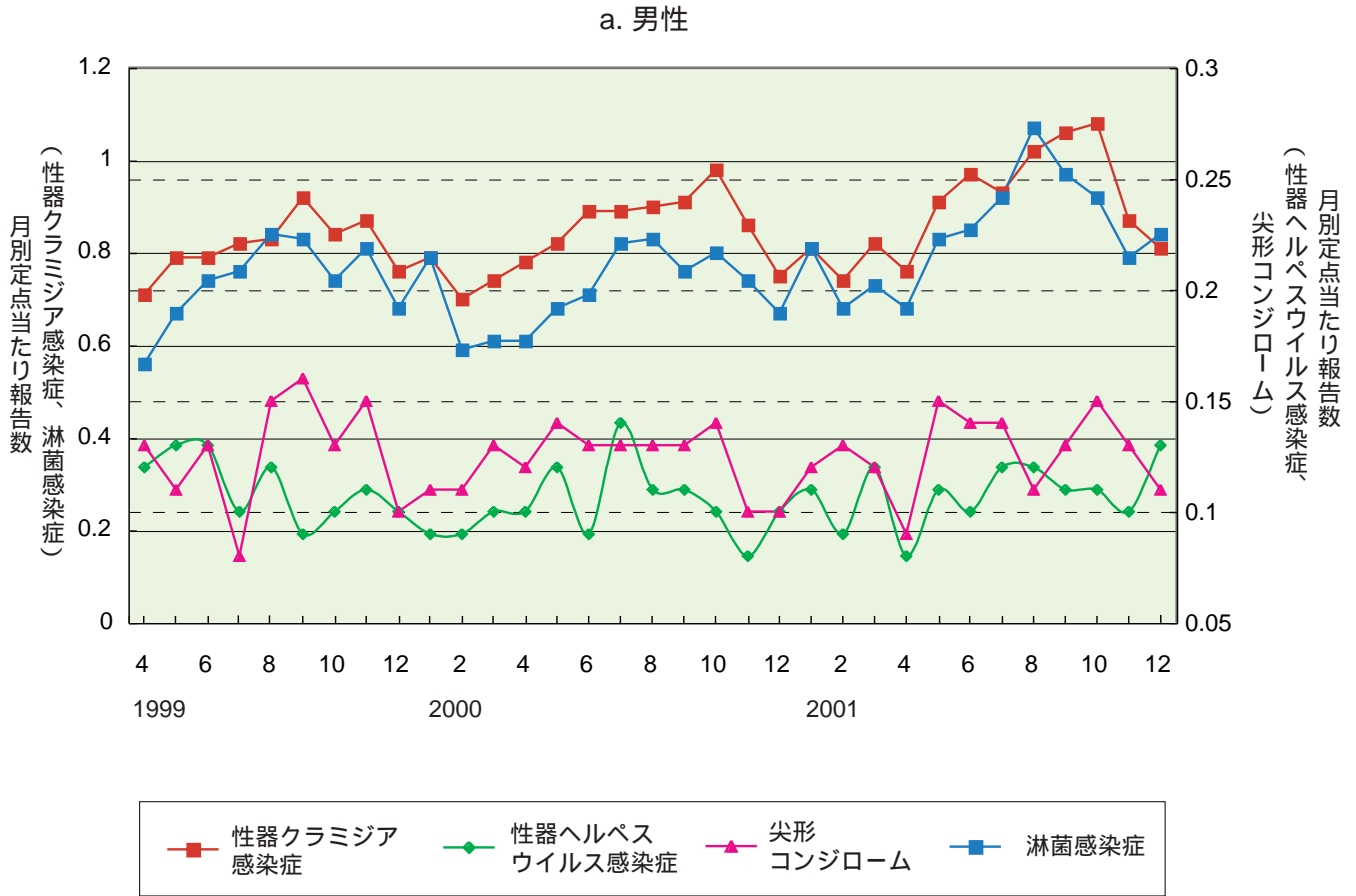


図1. 性感染症の年齢階級・性別グラフ

図2.1999年4月以降の性感染症の月別定点当たり報告数(15～29歳)



## 薬剤耐性菌感染症について ( 1月11日集計分 )

【注】 )内の+、-、= は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少、不変を表す。

12月の基幹定点総数 : 458 .

12月の定点当たり報告数 : メチシリン耐性黄色ブドウ球菌( MRSA )感染症 3.3( - )

ペニシリン耐性肺炎球菌( PRSP )感染症 1.2( + )

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.12( = )

年齢階級別 : MRSA感染症.....0歳、1~4歳と高齢者に多く、報告数の64%は65歳以上。

PRSP感染症.....1~4歳が最も多く、全体の43%を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く見られ、全体の67%が65歳以上。

## 結核サーベイランス月報 ( 1月22日集計分 )

12月の新登録患者数は2,717人、活動性肺結核患者は2,215人( うち喀痰塗抹陽性患者は888人 )であった。

また、新登録患者数に含まれない( 統計的には別掲扱い )マル初\*は551人、非定型抗酸菌陽性者数は254人であった。

\*マル初...結核の感染が強く疑われ発病予防のための治療を受けている者であって、正確には結核発病者ではない。

コメントは結核研究所の結核発生動向調査結果報告 ( <http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm> ) をご覧下さい。





# 注目すべき感染症

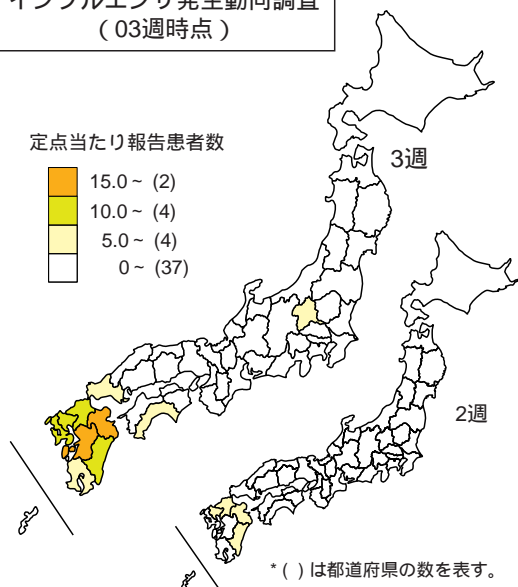
## インフルエンザ

2002年第3週の全国定点からのインフルエンザ報告総数は15,768で、定点当たり報告数は3.4であった。定点当たり報告数が多くなっている県は、熊本県( 16.33 )、大分県( 15.9 )、長崎県( 14.5 )、佐賀県( 14.2 )、宮崎県( 14.1 )、福岡県( 13.2 )など九州地方に集中している。

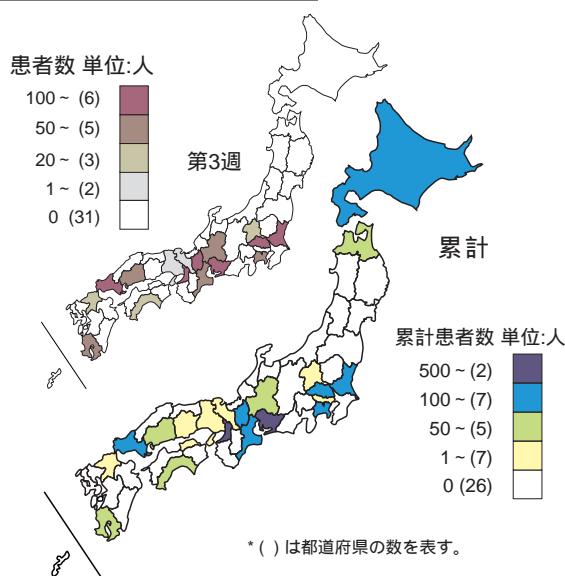
厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによれば、大きな流行の存在を示唆する「警報」が熊本県、宮崎県内のそれぞれ2保健所、大分県内の1保健所で発生しており、今後4週間以内に流行現象が生ずる可能性が高い「注意報」は、福岡県内の12の保健所、熊本県、大分県、宮崎県、群馬県内のそれぞれ4つの保健所など、全国計43保健所に発生している( インフルエンザウイルスの分離・検出については8ページ病原体検出情報参照 )。

厚生労働省が都道府県の学校担当部局などの協力を得て行っている、学校における「インフルエンザ様疾患発生報告」によると、平成13年10月28日から平成14年1月19日までの累積欠席者数は2,041人で、流行が小さかった昨年同期のほぼ2倍となっている。

インフルエンザ発生動向調査  
( 03週時点 )



インフルエンザ様疾患発生報告  
( 学級閉鎖に伴う患者調査 )



## 感染性胃腸炎

今シーズンの感染性胃腸炎は2001年第39週より患者報告数が徐々に増加し始め、第45週~50週には急増し、現在のところ第51週がピークとなっている( 20ページ感染性胃腸炎グラフ参照 )。2002年第3週の全国定点からの報告総数は25,896、平均の定点当たり報告数は8.57となっている。定点当たり報告数が多くなっている都道府県は福井県( 17.6 )、宮崎県( 15.2 )、宮城県( 15.2 )などである。病原体検出情報事務局には、多くのSRSVの検出情報が寄せられている( ウイルスの検出情報については8ページ参照 )。



# 病原体情報

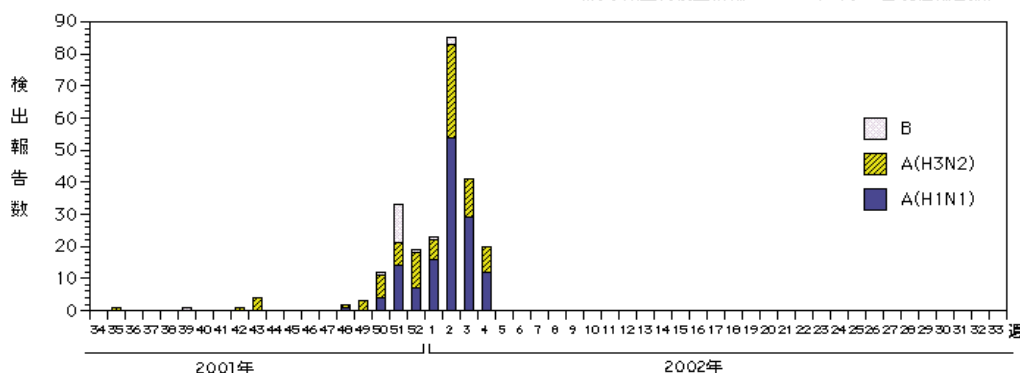
\*グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。  
(2002年1月25日現在報告分)

## インフルエンザ 2001/02シーズン

今シーズンの分離・検出報告は、A/ソ連(H1)型が137件(高知県17、北九州市16、石川県11など)、A/香港型(H3)が89件(高知県18、愛知県8、沖縄県7など)、B型は17件(名古屋市10など)である。最近では、A/ソ連(H1)型が第2週に54(21府県市)、第3週に29(12県市)、第4週に12(石川県、静岡市、高知県)、A/香港型(H3)が第2週に29(11府県市)、第3週に12(7県市)、第4週に8(栃木県、横浜市、静岡市、愛知県、神戸市、高知県)、B型が第2週に2(三重県)が報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2001/2002シーズン

(病原微生物検出情報: 2002年1月25日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。\*  
(\*他に40週AH3,49週Bが国立仙台病院で分離されている)

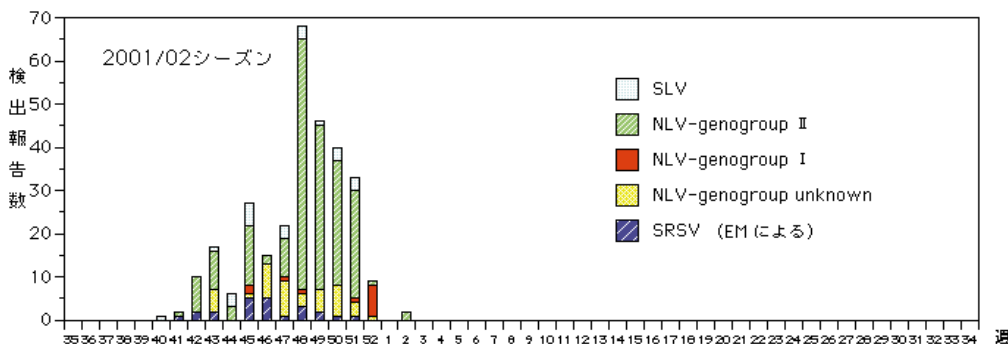


## 感染性胃腸炎 2001/02シーズン

今シーズンのSRSVの検出は、ノーウォーク様ウイルス(NLV)genogroup IIが199件(岩手県35、大阪市28、愛媛県26、岡山県18、東京都17など)、NLV genogroup Iが12件(滋賀県8、秋田県、埼玉県、東京都、石川県各1)、NLV genogroup unknownが41件(新潟県19、秋田県10、東京都8、鳥取県3、広島市1)、サッポロ様ウイルス(SLV)が23件(愛媛県13、岩手県10)で、その他に、電顕による検出が23件(岡山県8、北九州市8、栃木県4、愛媛県3)報告された。また、A群ロタウイルス18件(新潟県9、東京都3、岩手県、埼玉県、千葉市、浜松市、大阪府、奈良県各1)、群不明ロタウイルス1件(熊本県)の検出が報告されている。

検出されたSRSVの内訳、2001/02シーズン

(病原微生物検出情報: 2002年1月25日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。







## 2002年1月、仙台市におけるほぼ同時期の複数の型、および亜型のインフルエンザウイルス[ A( H1 )、A( H3 )、BおよびC型 ]混合流行の可能性について

2002年1月に入り、仙台市在住で呼吸器系感染症症状を示して同市内医療機関を受診した患者から、A( H1 )、A( H3 )およびB型インフルエンザウイルスの分離が続き、さらにC型ウイルスまで分離されたので報告する。分離情報の概略を別表に示した。

2002年1月 インフルエンザ分離成績 ( 1月25日現在 )

型・亜型	症例番号	年齢	性別	検体採取日	簡易キット成績	備考
A(H1)	1	37	男	1月7日	+	
	2	37	女	1月12日	未検	
	3	1	男	1月15日	未検	
	4	35	男	1月17日	-	
A(H3)	5	5	女	1月9日	+	症例6と兄弟
	6	7	男	1月9日	-	症例5と兄弟
	7	5	男	1月11日	+	
	8	4	男	1月18日	+	
	9	5	女	1月21日	未検	
	10	1	男	1月21日	未検	
	11	19	女	1月21日	未検	
	12	12	男	1月21日	+	
	13	5	女	1月21日	未検	症例14と兄弟
	14	2	男	1月22日	+	症例13と兄弟
	15	5	女	1月22日	+	
	16	8	女	1月22日	+	
	17	5	男	1月22日	+	
	18	8	男	1月22日	+	
B	19	7	女	1月9日	-	
	20	53	女	1月9日	-	
C	21	31	女	1月4日	未検	家族内発症疑い
	22	1	男	1月9日	未検	中耳炎併発
	23	5	女	1月21日	未検	

ウイルス分離: 分離材料は、上記患者から採取した咽頭ぬぐい液で、国立仙台病院ウイルスセンターにてウイルス分離を目的に培養細胞( Human Embryo Fibroblast、HEp-2、MDCK、VeroおよびHMV-II細胞 )に接種された。その結果、MDCK細胞にCPEが確認されたものについての培養上清を材料に、七面鳥赤血球に凝集活性を示したものを暫定的にインフルエンザ分離とし、その後AおよびB型インフルエンザウイルスの同定については、国立感染症研究所より分与された2001/02シーズン検査キットのフェレット抗血清を用い、またそれらに反応しないものに対しては、山形大学細菌学教室で作製した抗C型インフルエンザウイルス - ウサギ血清を用いた赤血球凝集抑制試験により同定した。

分離ウイルスの抗原性: 分離されたA( H1 )型ウイルスについては、すべて抗A/New Caledonia/20/99( H1N1 )血清( ホモ価 320 )に良く反応しており( 640 ~ > 1,280 )、また、A( H3 )型ウイルスもすべて抗A/Panama/2007/99( H3N2 )血清( ホモ価 1,280 )に対し高い反応性を示した( 640 ~ 1,280 )。一方、B型ウイルスの各抗血清に対する反応性は、いずれも抗B/Johannesburg/5/99血清( ホモ価 640 )、抗B/Yamanashi( 山梨 )/166/98血清( ホモ価 640 )、抗B/Akita( 秋田 )/27/2001血清( ホモ価 160 )に対し、それぞれ40、10、<10であった。

考察:

( 1 )分離ウイルスの抗原性: 仙台市におけるA( H3 )型ウイルスは、2001年10月5日の検体からの分離( IASR Vol.22、No.11参照 )以降、12月中旬に1件が分離されていた( IASRインターネット版速報参照 )。前者の抗原性が今シーズンワクチン株とずれていたのが注目していたが、後者のそれは一致しており、2002年1月に入ってからA( H3 )型の分離株はみなワクチン株と一致した。また、A( H1 )型ウイルスは年明けに出現したが、これまでの分離株の抗原性はワクチン株と一致している。一方、B型ウイルスは、2001年12月に分離された4例は山形系統株であるが、すべてワクチン株の抗原性と若干ずれており( IASR Vol.23、No.1参照 )、その傾向は今年に入ってからでも見られている。

( 2 )複数の型・亜型のインフルエンザウイルス、およびRSウイルスの混合流行の可能性: 2001年12月中旬にA( H3 )型ウイルスが分離された時点で、ほぼ同時期にB型ウイルスの分離が相次いでいたことから、年明けにはA( H3 )型とB型インフルエンザの混合流行が危惧されたが、1月現在予想通りの状況である。さらに、これにA( H1 )型インフルエンザの流行も加わった、また、C型インフルエンザも一部で活動していることが示唆される、1月としては珍しい流行形態になっている。ただし、第3週以降はA( H3 )型のみでの分離であり、今後この傾向が続くのが注目したい。さらに、この流行に、2001年暮れ以来のRSウイルスの流行( IASRインターネット版速報参照 )も依然加わっており( 1月15～18日判明分で10件の分離と、国立仙台病院小児科におけるここ2週間での抗原検出成績で、12件中10件陽性 )、この点についての注意も必要と思われ、今後の動向に注意したい。

( 3 )インフルエンザ迅速診断キット: ウイルスが分離された症例中14例に関してはA型、B型両方の診断が可能とされている迅速診断キットを用いた検査が試みられていたが、A型ウイルスが分離された12件に関しては10件が陽性を示していた。しかし、B型が分離された2件は、いずれもキットによる診断は陰性であった。2001年12月の分離の際もB型では同キット検査で陰性であり、その際感じたキットのB型インフルエンザへの感度に対する危惧( IASR Vol.23, No.1参照 )が、またもや再現された。

国立仙台病院ウイルスセンター

岡本道子 近江 彰 千葉ふみ子 伊藤洋子 西村秀一  
永井小児科医院 永井幸夫  
庄司内科小児科医院 庄司 眞  
東北労災病院耳鼻科 末武光子

## ダニ媒介性脳炎による日本人の死亡例

61歳の日本人男性がオーストリアに住む娘さんを訪ねたが、2001年6月2日に田舎においてダニに刺された。その後6月19日には髄膜炎を生じてオーストリアで入院となっている。病状は急速に髄膜脳炎へと進展し、6月22日にはダニ媒介性脳炎( TBE )の診断が付いたが、四肢麻痺、意識障害( 会話不可能 )を生じ、器械的人工呼吸が必要となり、9月6日には右大脳半球の出血にて死亡した。( ウィーン大学ウイルス学研究所Franz X. Heinz 教授よりの情報 )

TBEは日本ではなじみが薄いですが、オーストリア、チェコその他の中央～東ヨーロッパにかけて分布するヨーロッパ型と、旧ソ連邦の西から東まで広範に分布するロシア型( ロシア春夏脳炎 )とからなる。不顕性感染が多いが、発症した場合の致命率については前者で3%、後者で30%との高い数値も出されている。ヨーロッパではワクチンとしてBaxter-Immuno社のFSME-IMMUNとChiron Behring社のEncepurが使用可能であり、リスクのある者への接種が行われているが、我が国では市販されてなく、関係者の間での認識も乏しい。

本疾患については、「感染症の話」に近々掲載する予定である。

( 国立感染症研究所感染症情報センター )



## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### セネガルの黄熱

WHO/CSR 2002年1月21日

2002年1月18日現在セネガル保健省は、DiourbelおよびZiguinchor地区での黄熱患者18名の発生をWHOに報告した。患者は、ダカールのパスツール研究所で確定診断された。セネガル当局およびWHOによる調査に引き続いて、流行地域での集団予防接種の準備が行われ、サーベイランスが強化されている。

### ガボンおよびコンゴ共和国のエボラ出血熱 - 更新

WHO/CSR 2002年1月24日

2002年1月20日、ガボン政府は23名の死亡を含む26名の確認患者( 検査による診断10名、疫学的診断16名 )を報告した。さらに22名の疑い患者を調査中である。

2002年1月20日現在、11名の死亡を含む16名の確認患者が、両国国境近くのコンゴ共和国内の村々で報告された。

国際協力チームはLibreville、Makokouおよびコンゴ共和国で活動している。Mekambolに国際協力チームが戻ることについての話し合いが地方と国の当局間で続いており、チームができるだけ早急に帰り、地方当局と協力して流行の拡大を防ぐことが期待されている。

### コンボの野兔病 - 更新

WHO/CSR 2002年1月25日

2002年1月24日現在、プリシュティナにある公衆衛生研究所は、2001年11月1日から始まった野兔病の流行で496名の疑い患者が発生したと報告した。このうち109名が検査で確定診断された。現在まで死亡例はいない。



## 感染症の話

### 急性ウイルス性肝炎

#### 疫学

肝臓を炎症の主座とするウイルスとしてはA型( HAV )、B型( HBV )、C型( HCV )、D型( HDV )、E型肝炎ウイルス( HEV )がある。新たな非A-E型肝炎ウイルスとして1995年にSimonsら、1996年にはLinnenらがGBV-C/HGVを報告した。また、1997年には輸血後急性肝炎例の血中からTTVが発見されたが、これらはこれまでのところ肝炎ウイルスと認知されるに至っていない。一方、急性肝炎を惹起するウイルスとしてはEpstein-Barr virus( EBウイルス )、cytomegalovirus( サイトメガロウイルス )など様々なウイルスが知られている。

我が国における輸血後肝炎は1972年にHBs抗原、1989年にHBc抗体とC100-3抗体( 第一世代HCV抗体 )、さらに1992年から第二世代HCV抗体の測定が行われるようになってから減少の一途をたどっている。しかしながら、極めて稀であるが、抗原抗体測定では検出できないことがありうることも問題となった。そこで1999年日本赤十字は世界に先駆けて、HBV、HCV、HIVの3ウイルス核酸を検出するNAT( 核酸増幅検査 )を導入した。全国で献血された血液は各地の血液センターでスクリーニングされ、血清反応で陰性の血液すべてを東京( 大田区 )、京都( 福知山 )、北海道( 千歳 )のNATセンターで核酸レベルの検査を行い、現在では、輸血用血液製剤を含むすべての血液製剤がNATを実施後出荷されている。2001年12月末の時点で12,668,198件のNATを行い、HBV224例( 約1/6万 )、HCV43例( 1/29万 )、HIV4例( 1/317万 )のウイルス核酸陽性の血液を検出し、それら血液製剤( 血小板を含む )による感染の危険性を排除できた。このNATの導入により、血液製剤の安全性が格段に高まったといえる。

感染症法施行以来の発生動向調査では急性ウイルス性肝炎として、1999年4 ~ 12月に1,487例、2000年1 ~ 12月に980例が報告されている。2000年の報告での内訳をみるとA型379例、B型417例、C型118例、D型なし、E型4例、その他40例、不明22例となっている。

#### 病原体

##### A型肝炎ウイルス

1947年にMacCallumらが潜伏期の異なる2種類のウイルス肝炎を区別し、潜伏期の短い方をA型肝炎、長い方をB型肝炎と命名した。その後、KrugmannらはHAVを含む感染性血漿MS-1を分離、さらにBoggsらはMS-1の経口継代に成功し、1973年にFeinstoneらが糞便中に排泄されたMS-1ウイルス粒子を検出した。HAVは直径27nmの正20面体粒子で、ウイルス遺伝子は1個のORFを持つ約7,500塩基長のプラス鎖RNAである。HAV粒子の蛋白質には4種類のキャプシド蛋白質( VP1, VP2, VP3, VP4 )と、ゲノムRNAの5'末端に共有結合する蛋白質VPgがある。ピコルナウイルス科、ヘパトウイルス属に分類される。

##### B型肝炎ウイルス

1963年にBlumbergが、オーストラリア原住民の一人の血清がたびたび輸血を受けている血友病患者の血清と寒天ゲル内で沈降反応を起こすことを見だし、オーストラリア抗原と名付けた。1968年にはPrince、大河内がそれぞれ独立して血清肝炎と密接な関係のある抗原を発見したが、それはオーストラリア抗原と同じであることが確認され、HB抗原として統一された。HBVは直径42nmの球形粒子で、7nmの外被( エンヴェロープ )と環状2本鎖DNAとDNAポリメラーゼ、逆転写酵素などを包む直径27nmのヌクレオキャプシドからなるDNAウイルスである。HBV-DNAは約3,200



塩基対からなる環状2本鎖DNAであり、1)外被蛋白をコードしているpreS/S遺伝子、2)コア蛋白(HBc抗原)とHBe抗原をコードしているpre-C/C遺伝子、3)DNAポリメラーゼ・逆転写酵素・5'末端結合蛋白(primase)などをコードしているP遺伝子、4)X蛋白をコードするX遺伝子の4種類のORF(オープン・リーディング・フレーム)からなる。ヘパドナウイルス科に分類される。

### C型肝炎ウイルス

1989年にカイロン社の研究グループが米国CDCの研究者らとともに同定したHCVゲノムは、約9.5k塩基からなるプラス鎖RNAであり、そのなかに各蛋白質をcodeする一本のORFが存在する。ゲノムの両端の非翻訳領域には二次構造に富む領域があるが、5'末端側にはIRES(internal ribosome entry site)が存在し、翻訳反応の開始に重要な役割を持つ。3'末端(3'X)は5'末端とともにウイルスの複製に寄与するとの報告がある。ウイルス蛋白質は前駆体蛋白質として翻訳され、宿主細胞由来のシグナルペプチダーゼにより、構造蛋白であるコア蛋白質、外被蛋白質(E1, E2)が産生される。その後ウイルスのプロテアーゼによって、非構造蛋白質NS2, NS3, NS4A, NS4B, NS5A, NS5Bに切断される。フラビウイルス科に属する。

### D型肝炎ウイルス

1977年Rizzettoらにより、HDVがコードする唯一の蛋白である 抗原抗体系が発見された。HDVはhepadona virus遺伝子、または蛋白質の存在下でその生物活性を示す特殊な肝炎ウイルスである。直径36nmの大きさでHBVの表面蛋白抗原で覆われ、約1.7kbの環状一本鎖RNAと 抗原蛋白質を内蔵している。D型肝炎はHDVがB型肝炎ウイルスキャリアーに重感染するか、あるいはB型急性肝炎に同時感染して生じる。

### E型肝炎ウイルス

HEVのウイルスゲノムは1989年、HCVとほぼ時期を同じくして同定された。直径約30nmのウイルス外被を持たない小型のRNAウイルスである。患者あるいは感染サル糞便を用いた免疫電子顕微鏡では、27～34nmの粒子として観察される。HEVゲノムは約7.2kbのプラス一本鎖RNAで、3'末端にポリアデニル基を持っている。この中には、5'末端からORF1, ORF3, ORF2の順にORFが一部重複しながら配列している。ORF1は非構造蛋白質をコードし、N末端側からメチルトランスフェラーゼ、システインプロテアーゼ、RNAヘリカーゼ、RNA依存RNAポリメラーゼのモチーフがある。ORF2は構造蛋白をコードしている。

## 診 断

### A型急性肝炎

HAVは経口感染性であることから、貝類の生食などの病歴聴取は重要である。血清学的診断としてはIgM型HAV抗体の測定が有用である。IgM型抗体は発症後1週間目から出現し(60～70%)、3～4週間目に抗体価が最高値となり、以後次第に低下する。また、糞便中のHAV、あるいはHAV-RNAの検出によっても同定可能である。

### B型急性肝炎

B型急性肝炎では、潜伏期間中にHBs抗原、HBe抗原、HBV-DNA、DNAポリメラーゼなどが検出される。発症後、トランスアミナーゼの上昇とともにIgM型HBc抗体、IgG型HBc抗体の順に血



液中に出現する。B型急性肝炎の早期診断にはHBs抗原、IgM型HBc抗体の検出が有用であるが、両マーカー陰性例において( TMA法による )HBV-DNAの陽性例が半数近く認められたとの報告もある。また、IgM型HBc抗体の測定はキャリアーの急性発症とB型急性肝炎との鑑別に有用とされているが、鑑別に苦慮する症例も散見され、臨床経過の追跡が重要である。

#### C型急性肝炎

A型やB型急性肝炎と異なり、C型急性肝炎については未だIgM系抗体の有用性が認められておらず、抗原 - 抗体系での診断法が確立していない。従来より主としてIgG型抗体を測定するものとしてcore蛋白質に対する抗体( JCC-2, C22c )、NS4蛋白質に対する抗体( C100-3 )が用いられてきたが( 第一世代 )、現在ではC100-3とコア蛋白質領域およびNS3領域を抗原として組み合わせ検出感度が上昇した第二世代、さらにNS5領域の抗原も含めた第三世代の抗体測定系がスクリーニング検査としてきわめて有用となっている。しかし、C型急性肝炎では、HCV抗体が陽性化する以前にHCVのゲノムであるHCV-RNAを検出し得ることから( window period ; ウインドウ期 )、HCV-RNAの測定( RT-PCR法 )がその早期診断に必須である。

#### D型急性肝炎

臨床所見のみから他のウイルス性肝炎と鑑別するのは困難で、HDVの血清動態を十分理解した上での血清マーカー測定が重要である。通常、同時感染( coinfection )ならびに重複感染( superinfection )とも血清HBs抗原陽性、anti-HD陽性であるが、同時感染ではIgM型anti-HBc陽性・anti-HBc陰性または低力価陽性であり、血清anti-HDは発症早期には低力価である。一方、重複感染では血清IgM型anti-HBc陰性・anti-HBc高力価陽性であり、血清anti-HDは発症早期から高力価となる傾向にある。また、HDVのゲノムであるHDV-RNAの検出は早期診断に有用である。

#### E型急性肝炎

肝炎発症時の糞便あるいは血清からHEV-RNAを抽出し、ORF1のRNA依存性RNAポリメラーゼ領域、あるいはORF2の3'末端をPCRで増幅して検出する方法が一般的である。さらに武田らは、HEVのVLP( virus-like particle ; ウイルス中空粒子 )を免疫抗原として作製した高度免疫血清を用いて、ウイルス抗原検出に有用なELISAを開発した。

#### 臨床症状

A型肝炎、E型肝炎では突然発熱し、それが数日間持続し、その間食欲不振、全身倦怠感、悪心・嘔吐、右季肋部痛、濃色尿、下痢などが見られ、引き続き黄疸も認められるようになる。これらの症状は1~2週間程度で軽減する。一般的に、A型肝炎では38度以上の高熱になることが多い。

B型肝炎、C型肝炎、D型肝炎では比較的徐々に食欲不振、全身倦怠感、悪心・嘔吐、右季肋部痛、上腹部膨満感、濃色尿などが見られるようになり、引き続き黄疸も認められるようになる。一般的に、C型肝炎では黄疸などの症状が軽く、D型肝炎では発症が比較的急である。

A型肝炎、E型肝炎では通常AST、ALTは単峰性の上昇を示して1~2カ月で正常化し、一過性感染である。しかし、A型肝炎の約1%が劇症化し、その約4割が死亡する。E型肝炎では妊婦で劇症化しやすく、その1~3割が死亡する。B型肝炎は感染年齢により予後が異なり、乳幼児の感染では無症状のままキャリア化することが多い。一方、成人の感染ではそのほとんどが一過性で1~2カ月で治癒する。しかし1%は劇症化し、その約6~7割は死亡する。免疫状態が正常な

成人で感染した場合にはキャリア化することは少ない。乳幼児および成人のキャリアの一部が慢性肝炎となる。

C型肝炎では通常AST、ALTは多峰性の変動を示し、6割以上がキャリアとなり、数十年かけて肝硬変、肝癌へと進展する。C型肝炎で治癒する例は急性肝炎で認められているものの、一度慢性肝炎になってから自然治癒する例はまれである。D型肝炎はB型肝炎とともに存在するが、D型肝炎とB型肝炎と同時に感染した場合には、まずD型肝炎、続いてB型肝炎が発症するため、重症化、劇症化することが多いが、キャリア化はまれである。しかし、B型肝炎患者がD型肝炎を発症した場合には、多くがキャリア化する。

### 治療・予防

治療はいずれの急性肝炎でも対処療法のみであるが、劇症肝炎の場合には血漿交換、人工肝補助療法、肝移植などの特殊治療が必要となる。

A型肝炎、E型肝炎ウイルスの感染経路は経口感染であり、ウイルスに汚染された食物、水の摂取により罹患することが多いので、予防には手洗い、飲食物の加熱が重要である。またA型肝炎にはHAワクチンが有効である。日本人の大半はA型肝炎ウイルスに対する抗体がないので、流行地に出かける人はワクチンを接種することをすすめる。

B型肝炎ウイルスの感染経路には、血液の他に母子感染や性感染がある。母子感染については、予防策としてキャリア母からの新生児に高力価HBs抗体含有免疫グロブリン(HBIG)とHBワクチンの投与が行われており、母子感染の発生はほとんどなくなった。

C型肝炎ウイルスの主な感染経路は血液であり、母子感染、性感染は、極めてまれと考えられている。

D型肝炎ウイルスでは性感染などに注意が必要で、場合によりHBワクチンが有効である。

### 感染症法における取り扱い

急性ウイルス性肝炎は4類感染症全数把握疾患であり、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって検査所見による判断がなされたもの

#### 1) A型肝炎

- ・血清抗体の検出  
例、血清中のIgM・HA抗体が陽性のもの

#### 2) B型肝炎

- ・血清抗体の検出  
例、患者血清中のIgM・HBc抗体が陽性のもの(キャリアの急性増悪例は含まない)

#### 3) C型肝炎

- ・抗原の検出  
例、HCV抗体陰性で、HCV・RNAまたはHCVコア抗原が陽性のもの
- ・血清抗体の検出  
例、患者ペア血清で、第2あるいは第3世代HCV抗体の明らかな抗体価上昇を認めるもの

#### 4) その他のウイルス性肝炎

- ・HDV、HEVなどの上記以外の肝炎ウイルスによる急性肝炎や、その他の非特異的ウイルスによる急性肝炎

- ・病原体検査や血清学診断によって、急性ウイルス性肝炎と推定されるもの(この場合には、病原体の名称についても報告すること)

上記の急性ウイルス性肝炎の報告のための基準を満たすもので、かつ、劇症肝炎となったものについては、報告書の「症状」欄にその旨を記載する。劇症肝炎については、以下の基準を用いる。

- ・肝炎のうち症状発現後8週以内に高度の肝機能障害に基づいて肝性昏睡Ⅱ度以上の脳症をきたし、プロトロンビン時間40%以下を示すもの。発病後10日以内の脳症の出現は急性型、それ以降の発現は亜急性型とする。

【注】慢性肝炎、キャリアーについては、それらの急性増悪例も含めて、届け出の対象にはならないことを再認識していただきたい。

(国立感染症研究所ウイルス第二部 相崎英樹 鈴木哲朗)



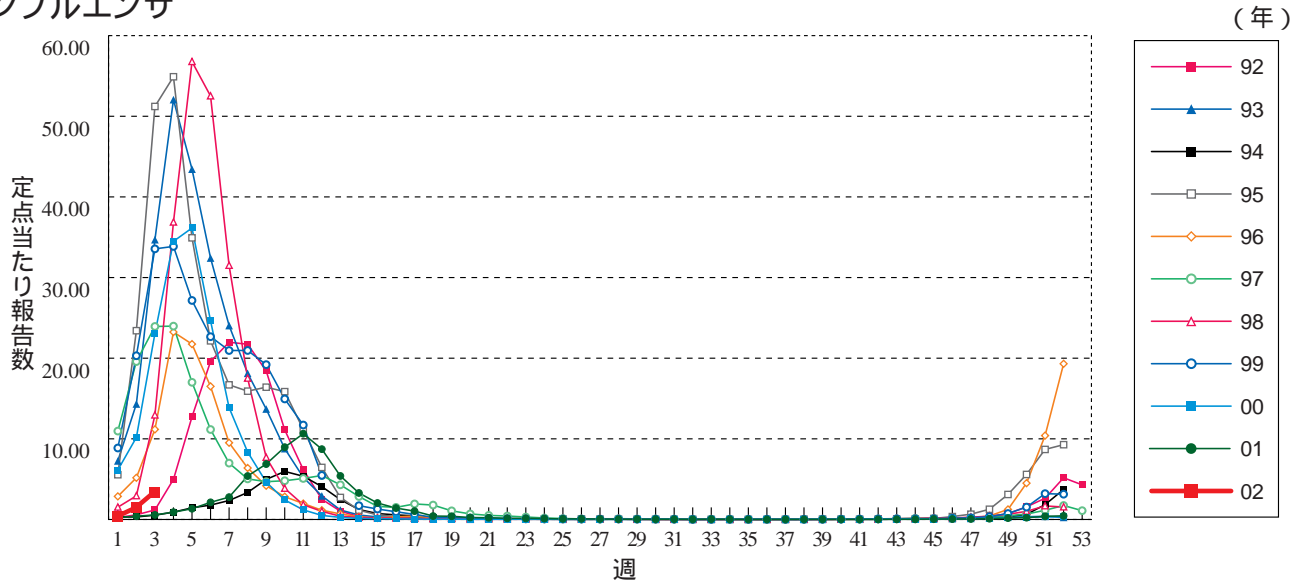
## 読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。  
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

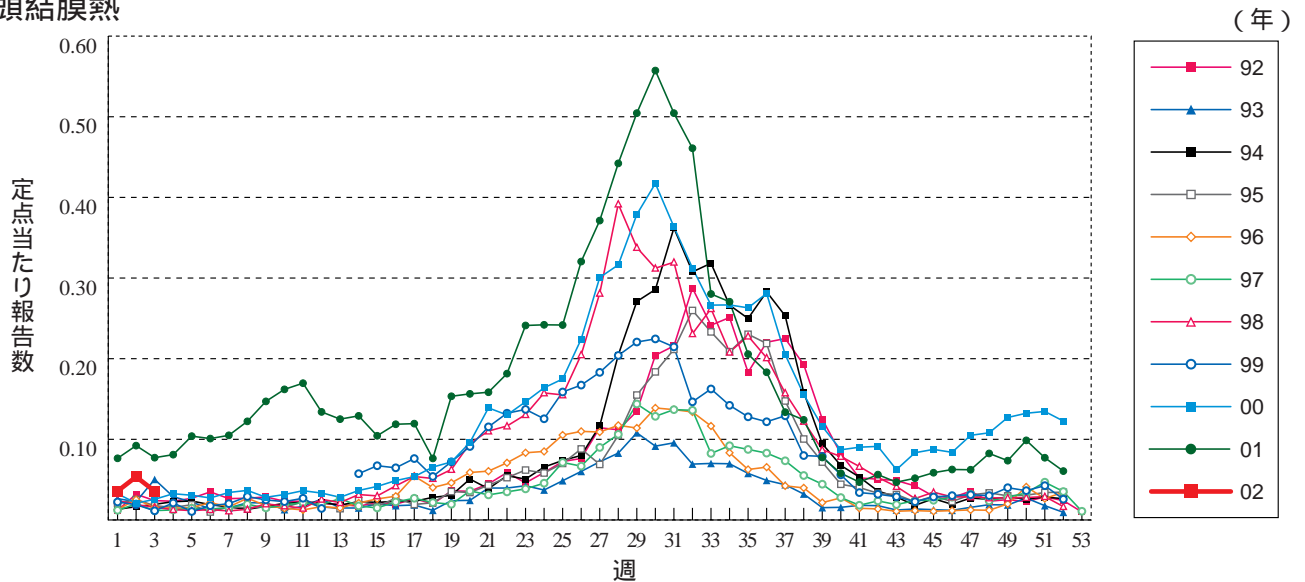
[idsc-query@nih.go.jp](mailto:idsc-query@nih.go.jp)

**グラフ総覧( 3週 )**

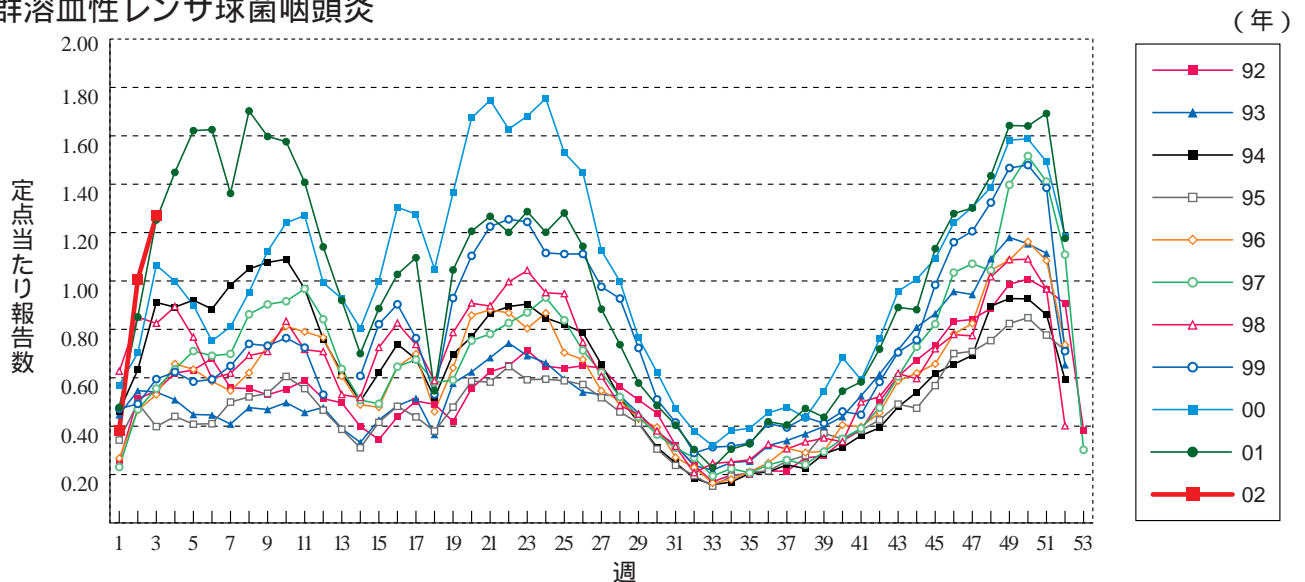
**インフルエンザ**



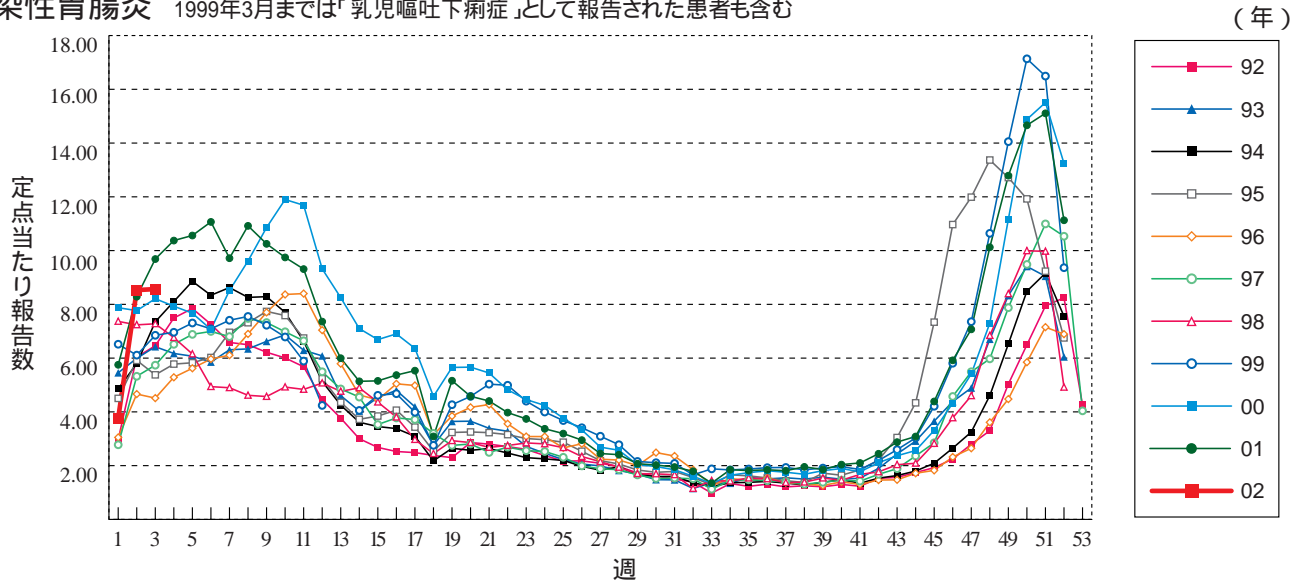
**咽頭結膜熱**



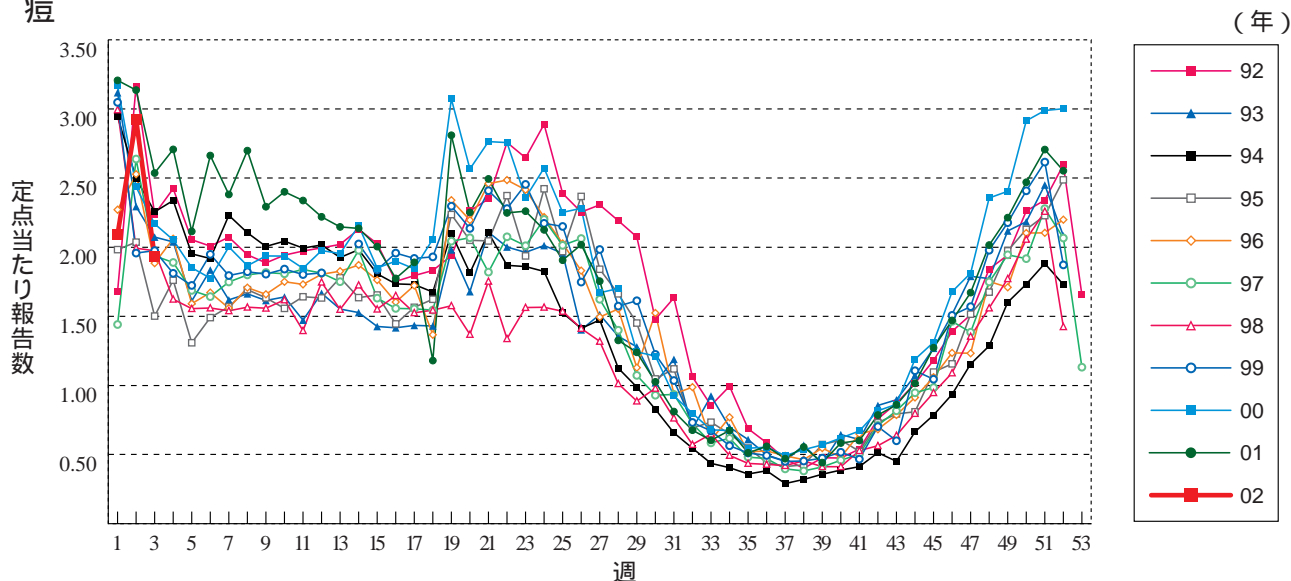
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



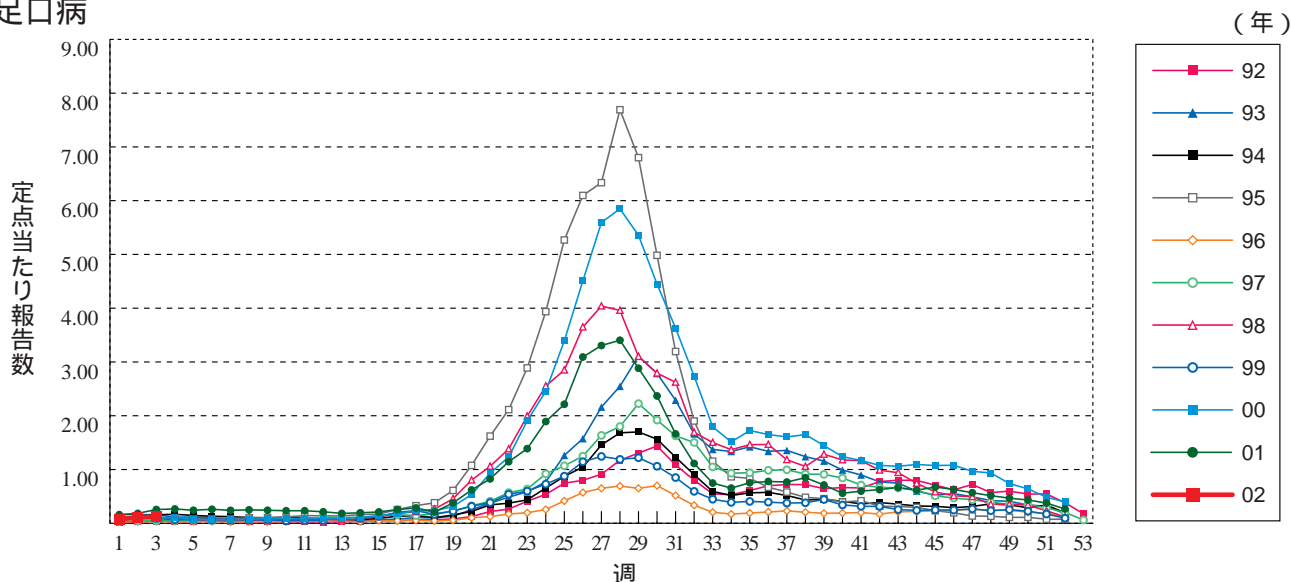
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



**水痘**

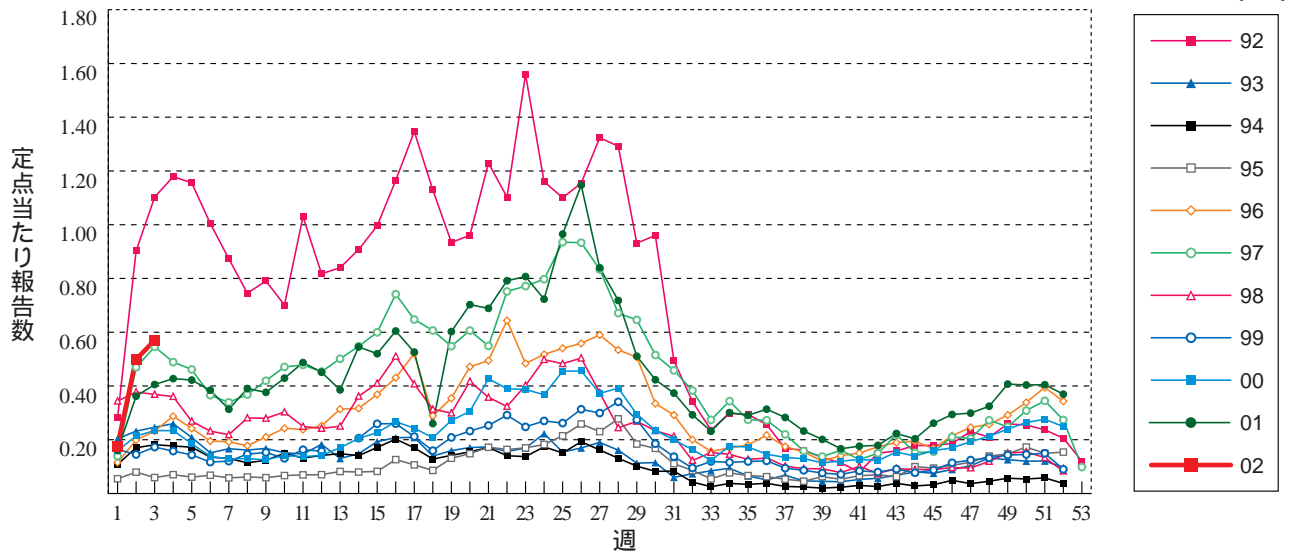


**手足口病**

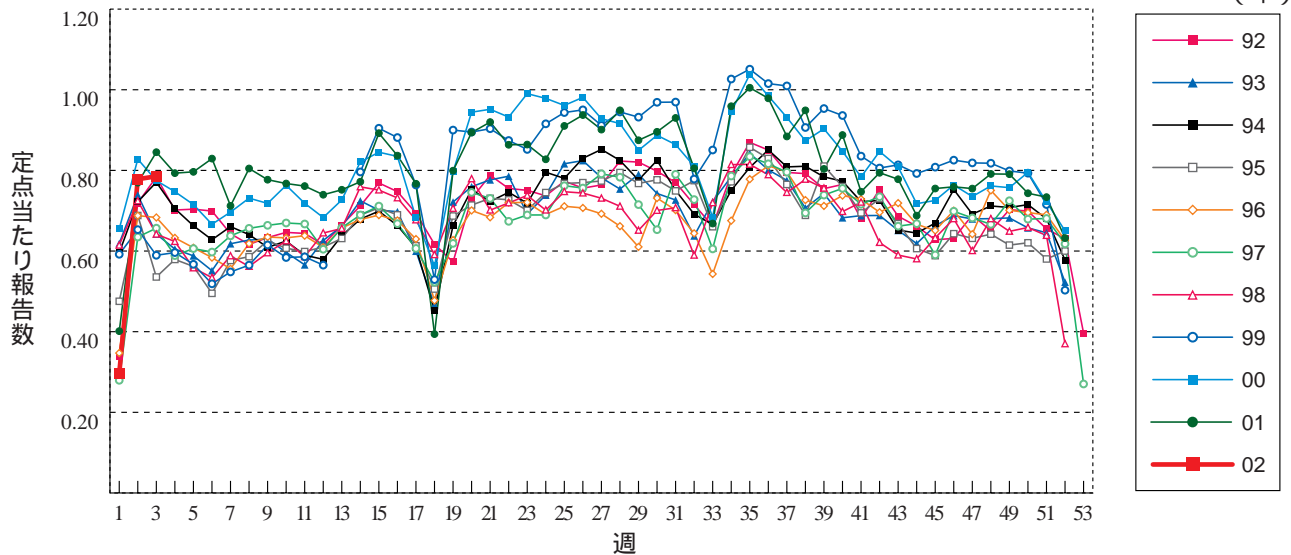




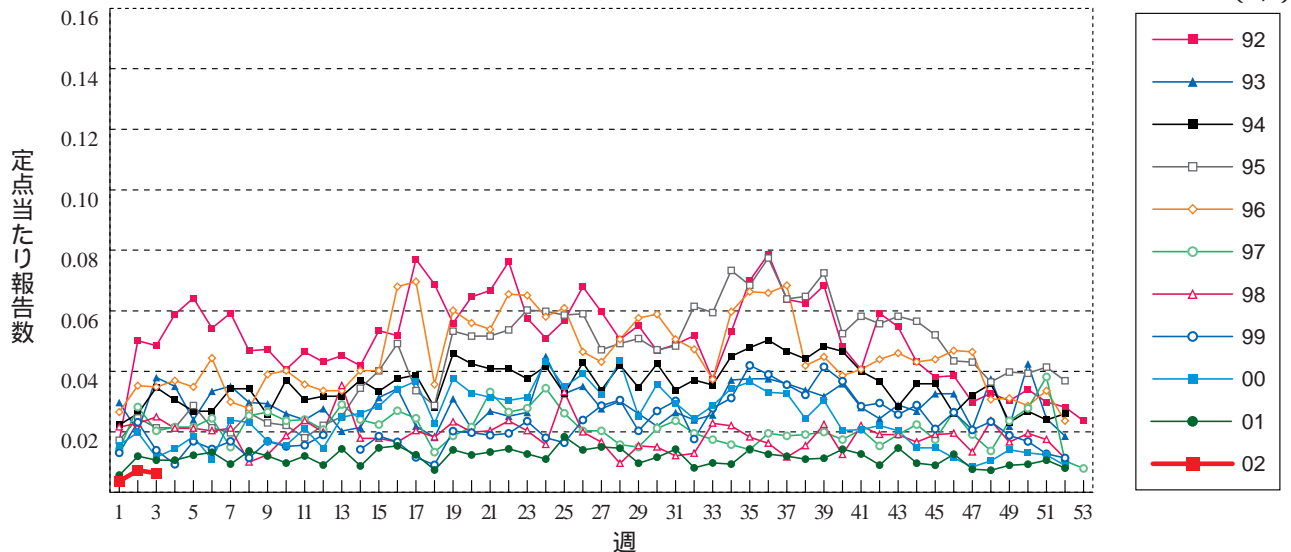
伝染性紅斑



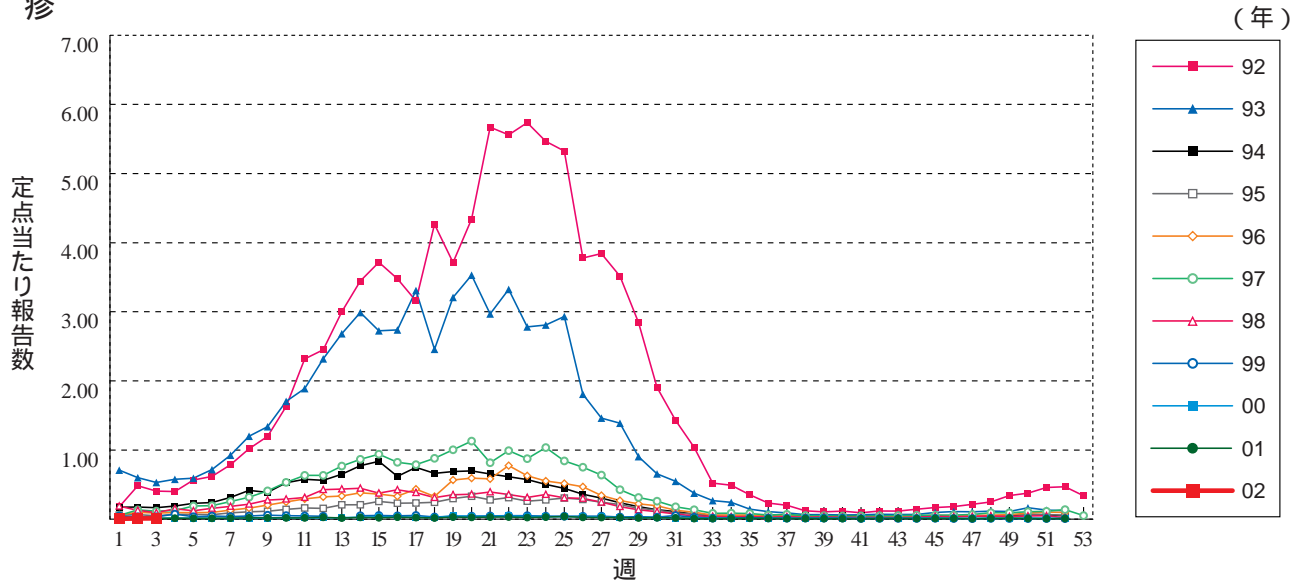
突発性発疹



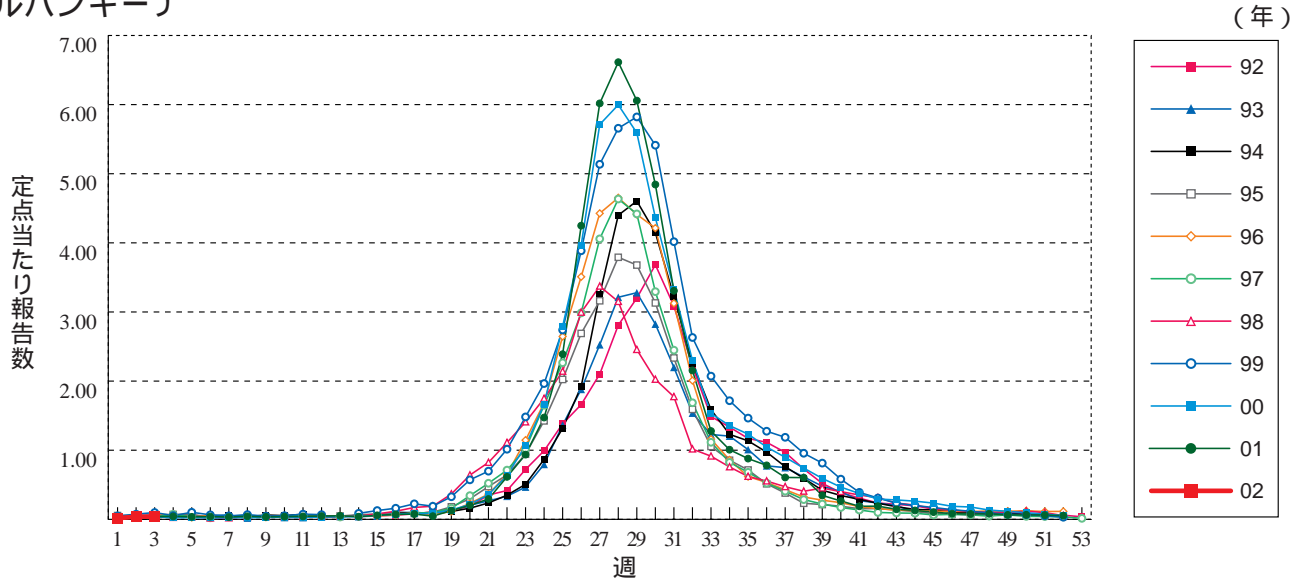
百日咳



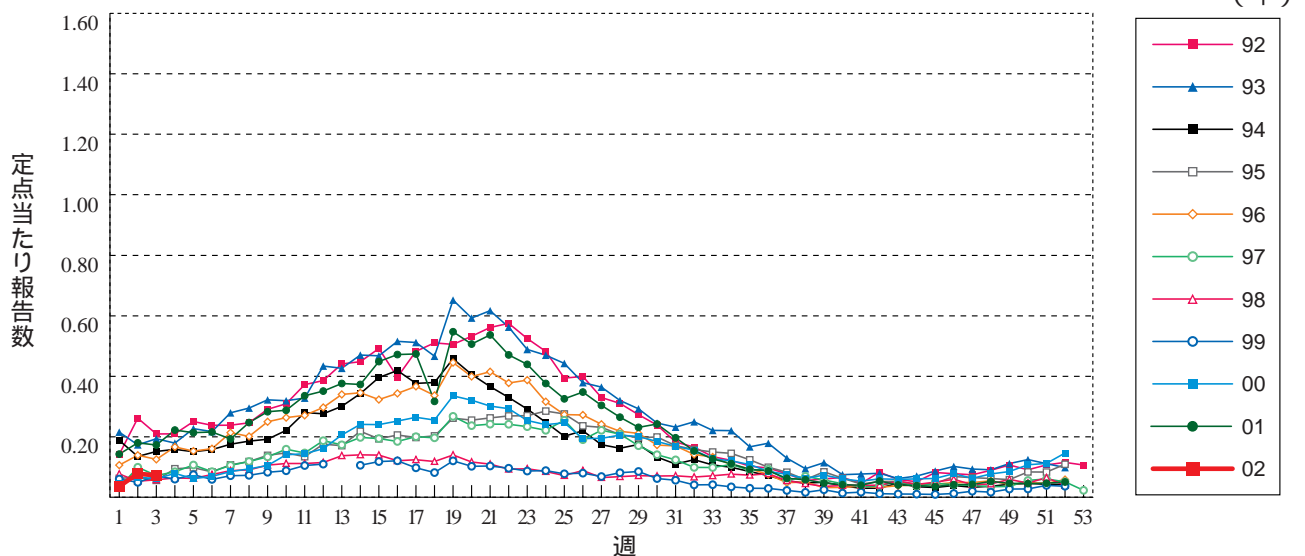
風 疹



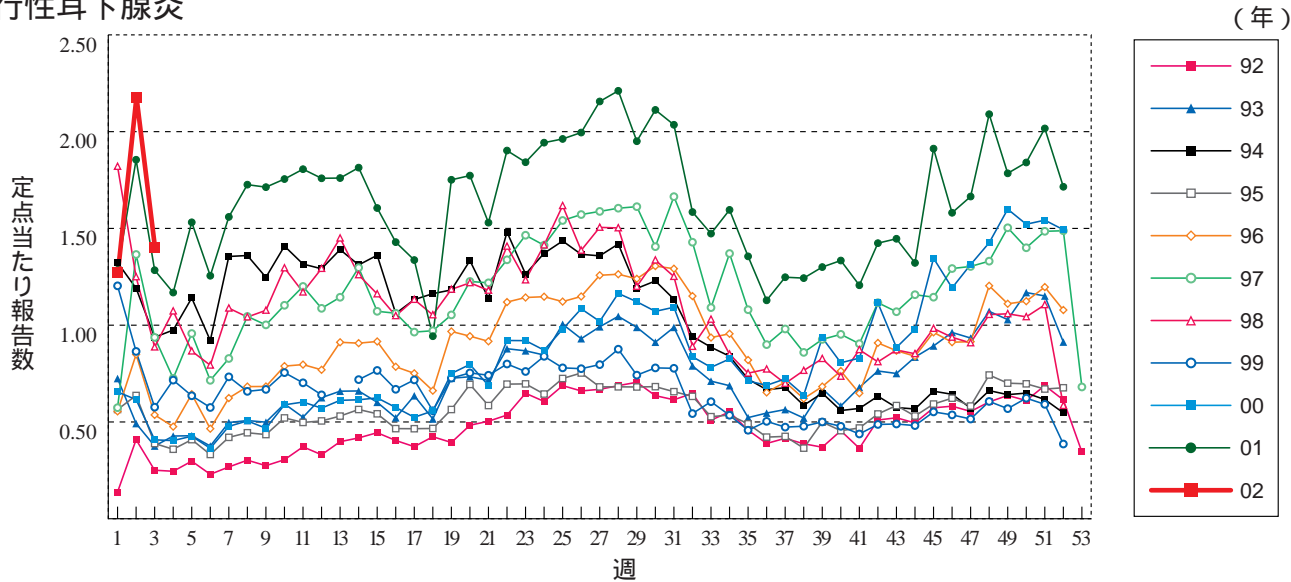
ヘルパンギーナ



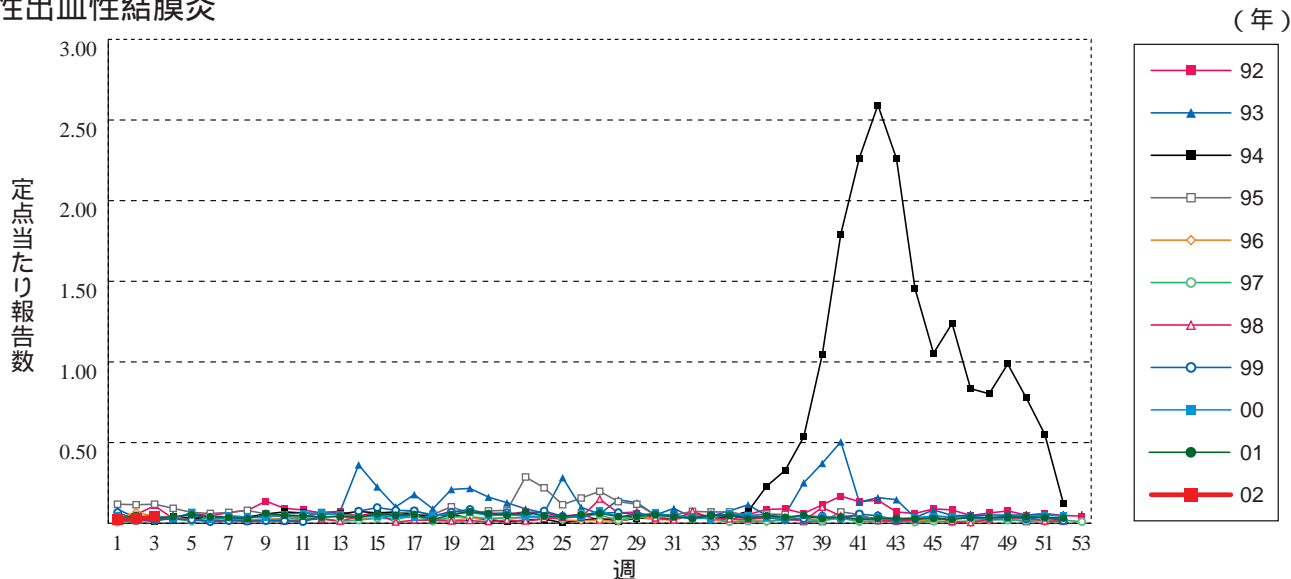
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



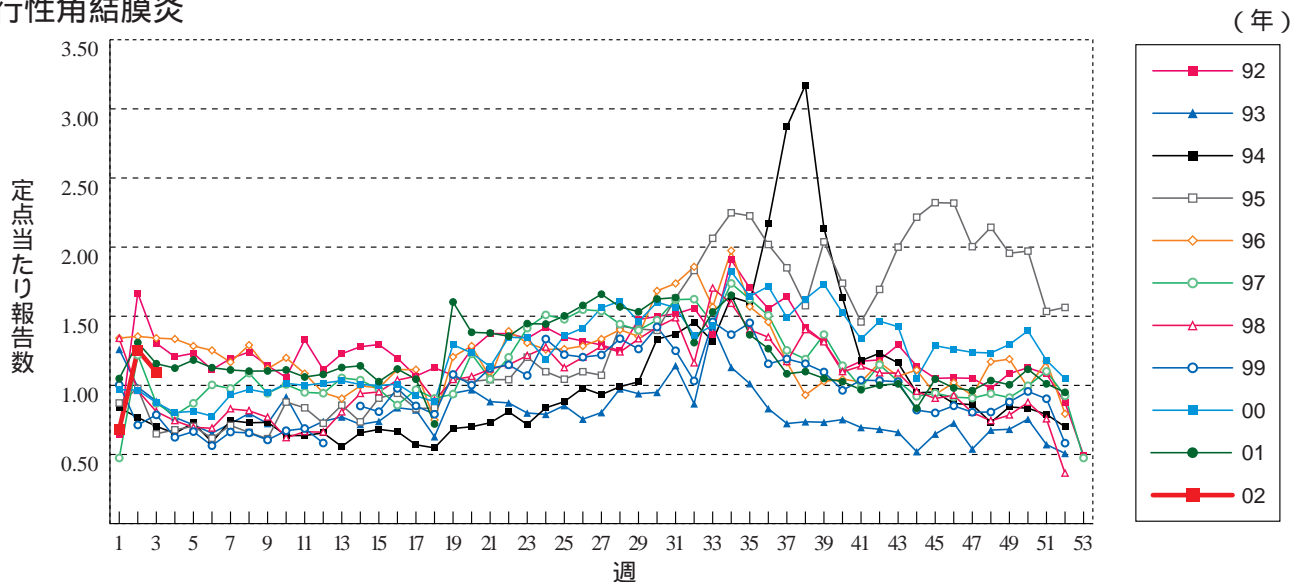
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

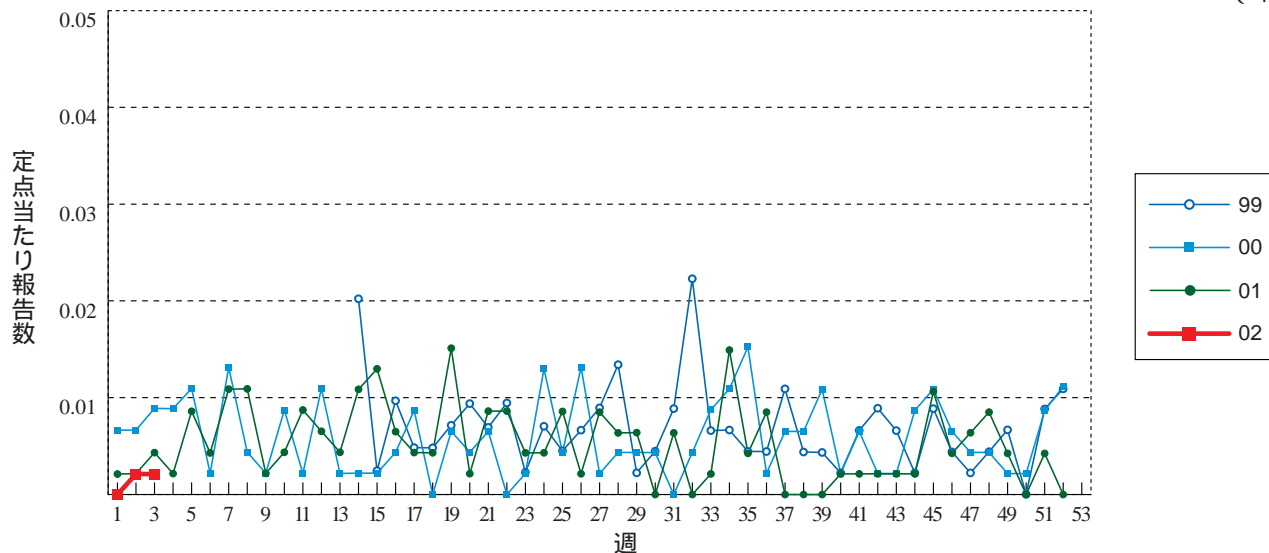


流行性角結膜炎



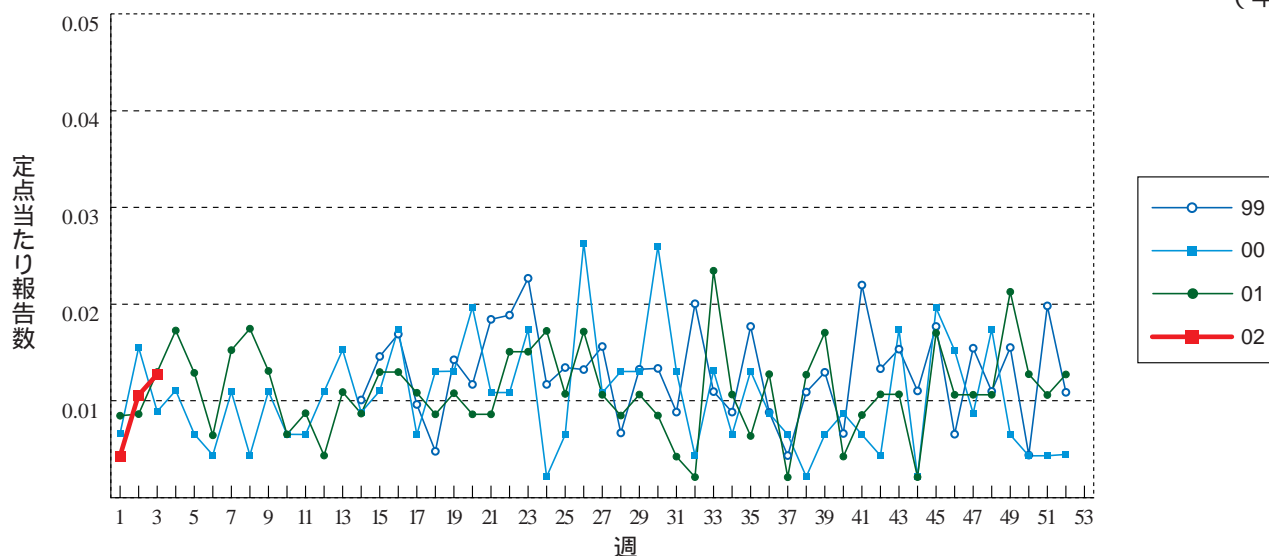
急性脳炎 (日本脳炎を除く)

(年)



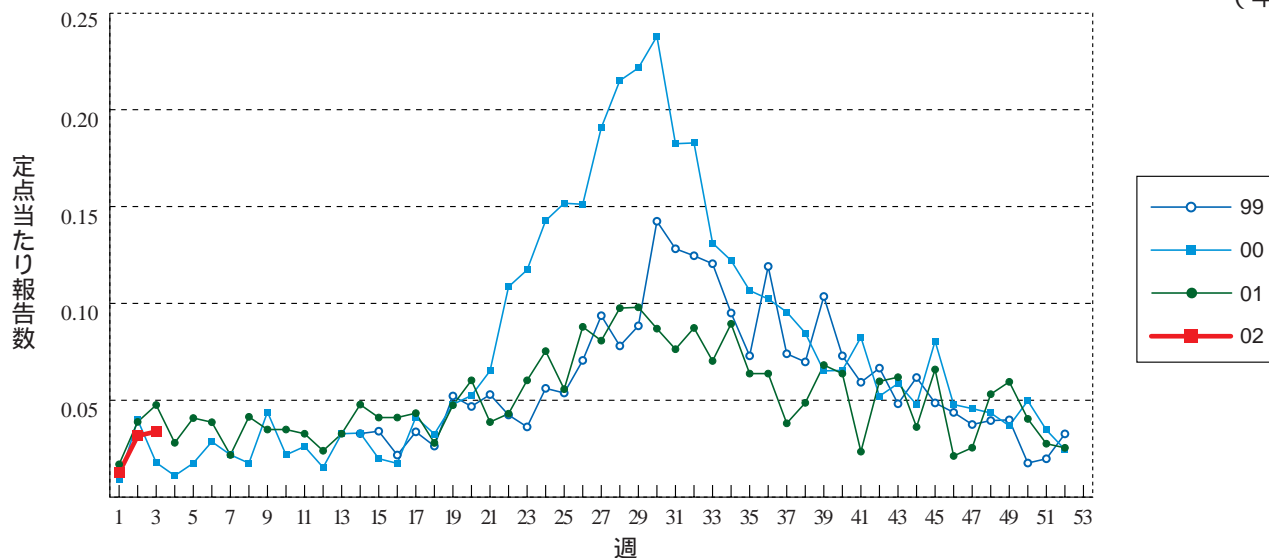
細菌性髄膜炎

(年)



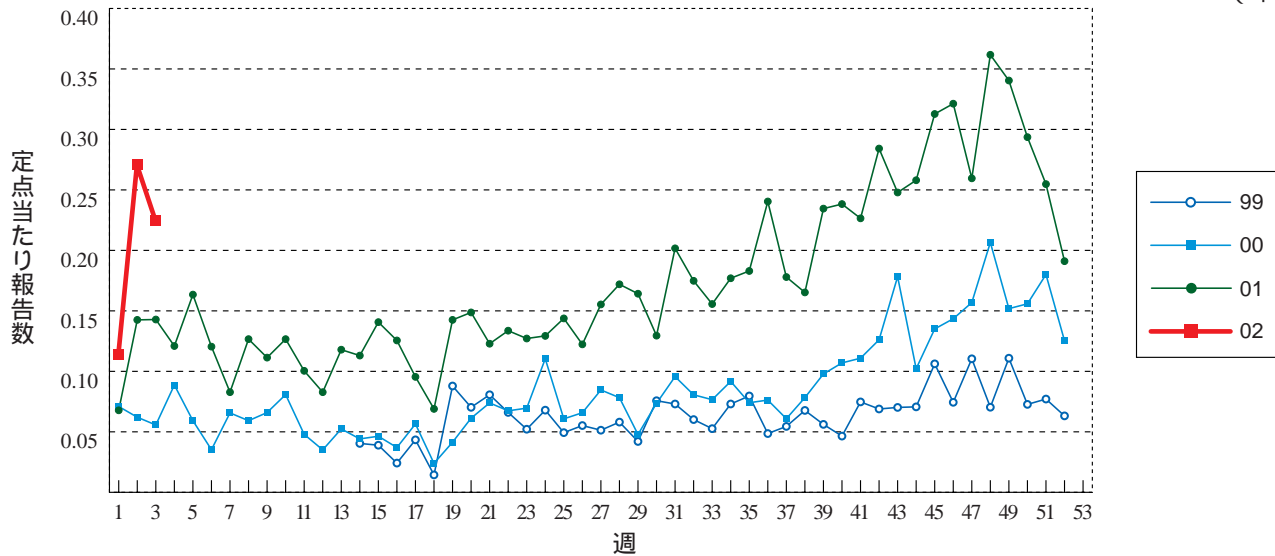
無菌性髄膜炎

(年)



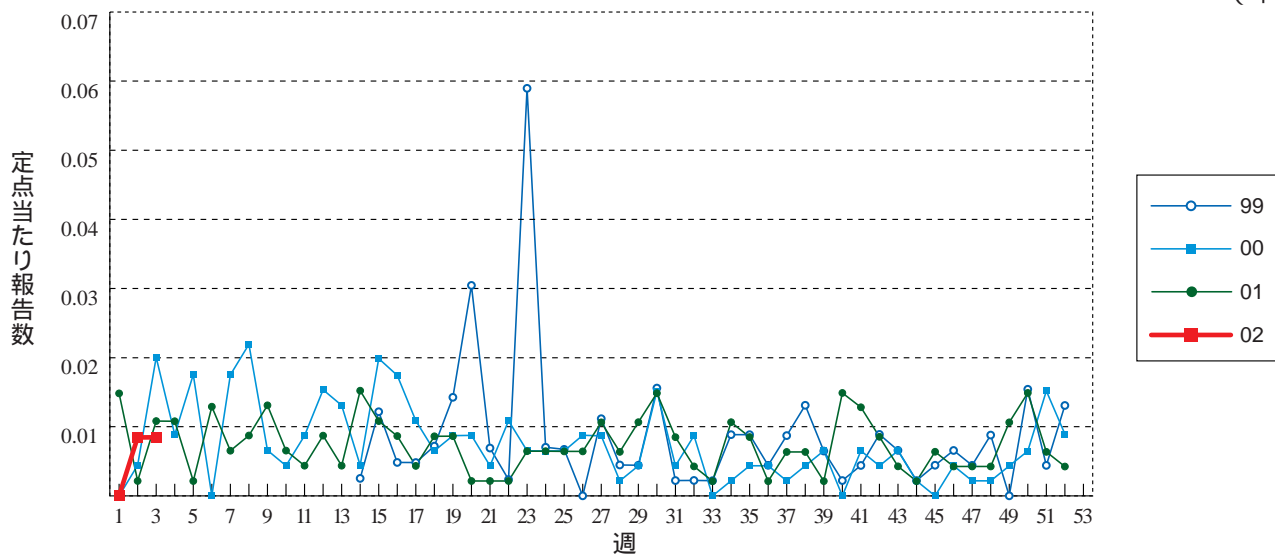
マイコプラズマ肺炎

(年)



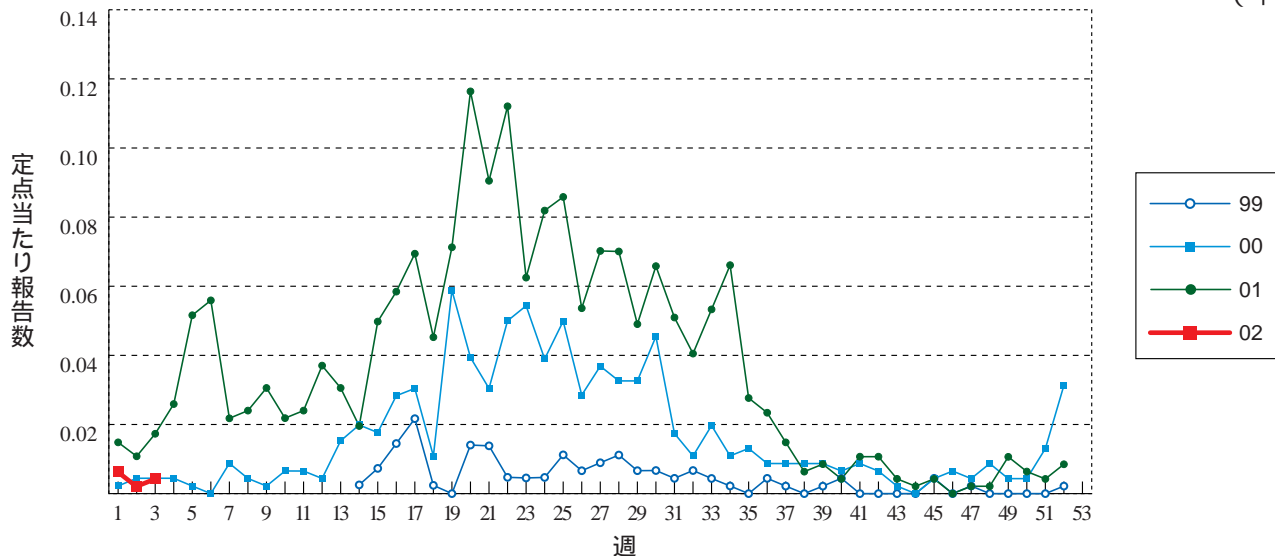
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

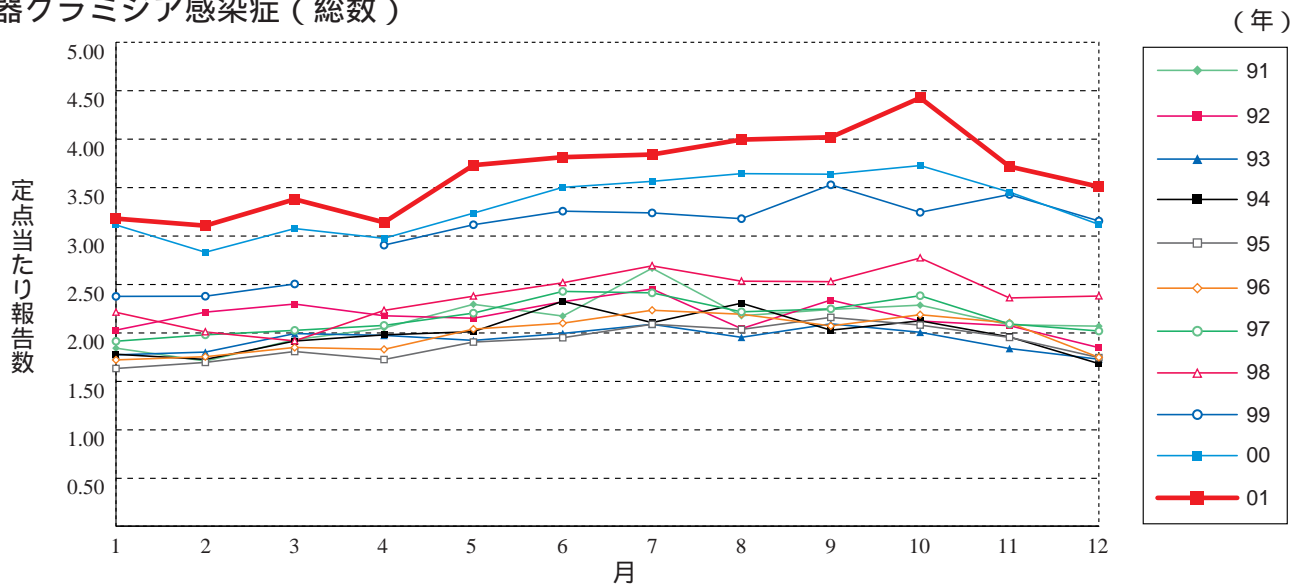




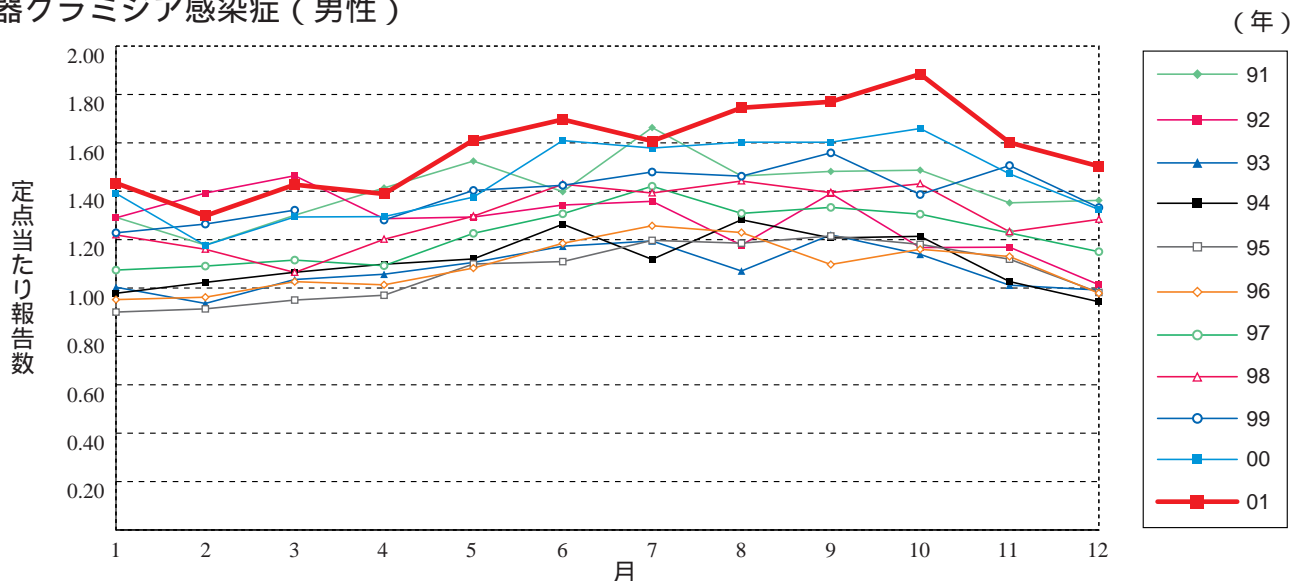
**グラフ総覧(12月)**

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

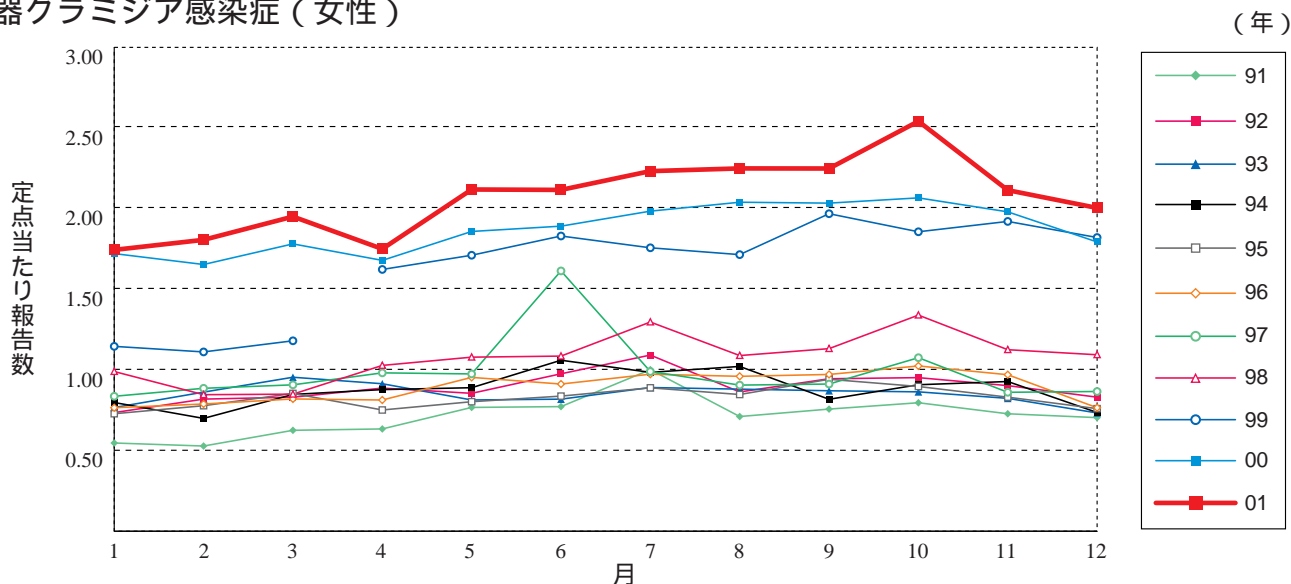
**性器クラミジア感染症(総数)**



**性器クラミジア感染症(男性)**

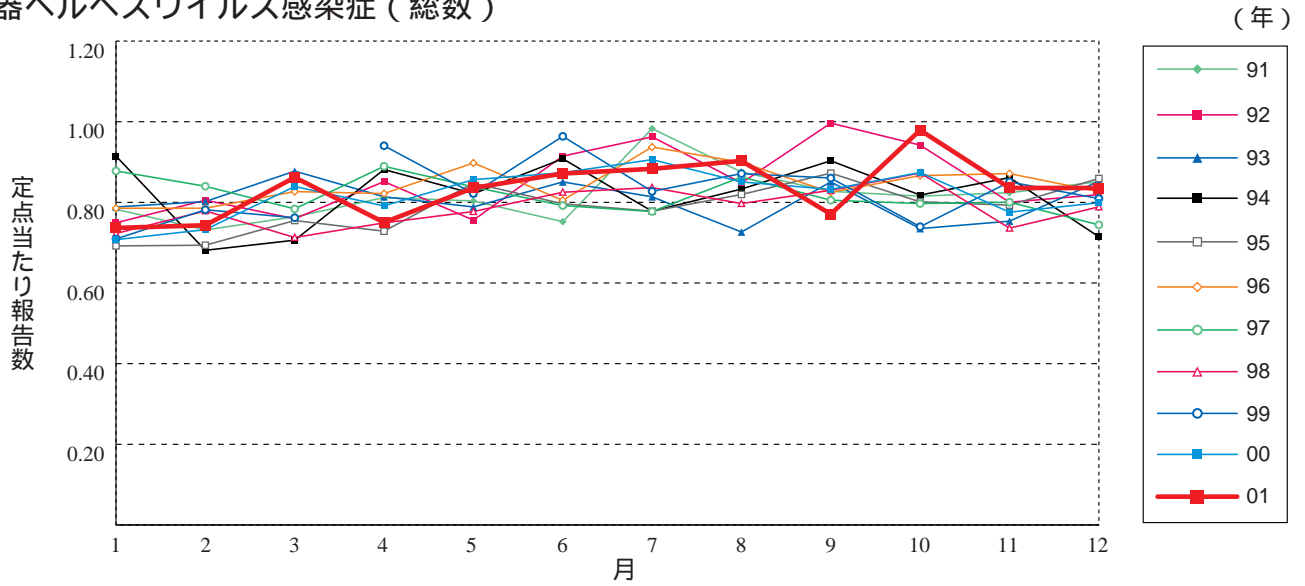


**性器クラミジア感染症(女性)**

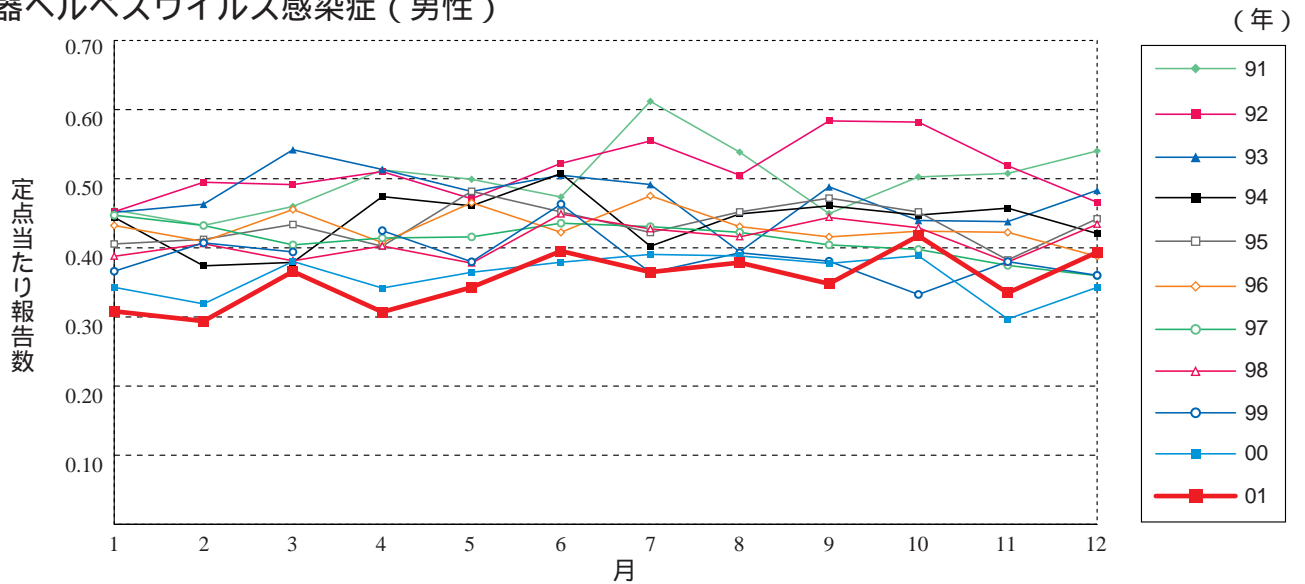




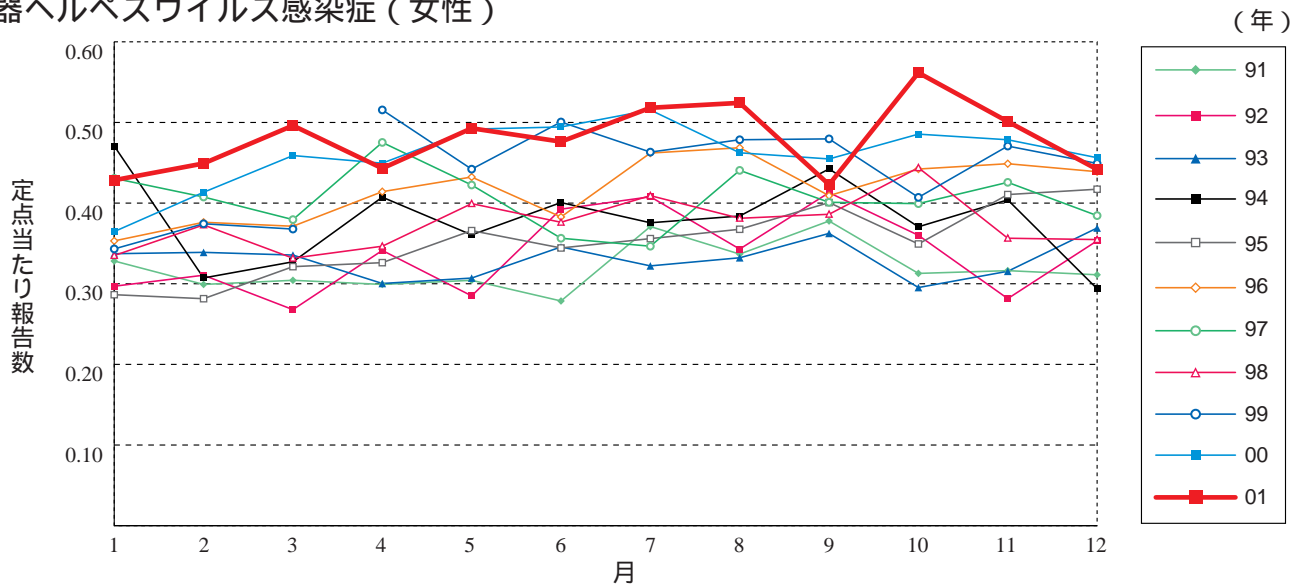
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）



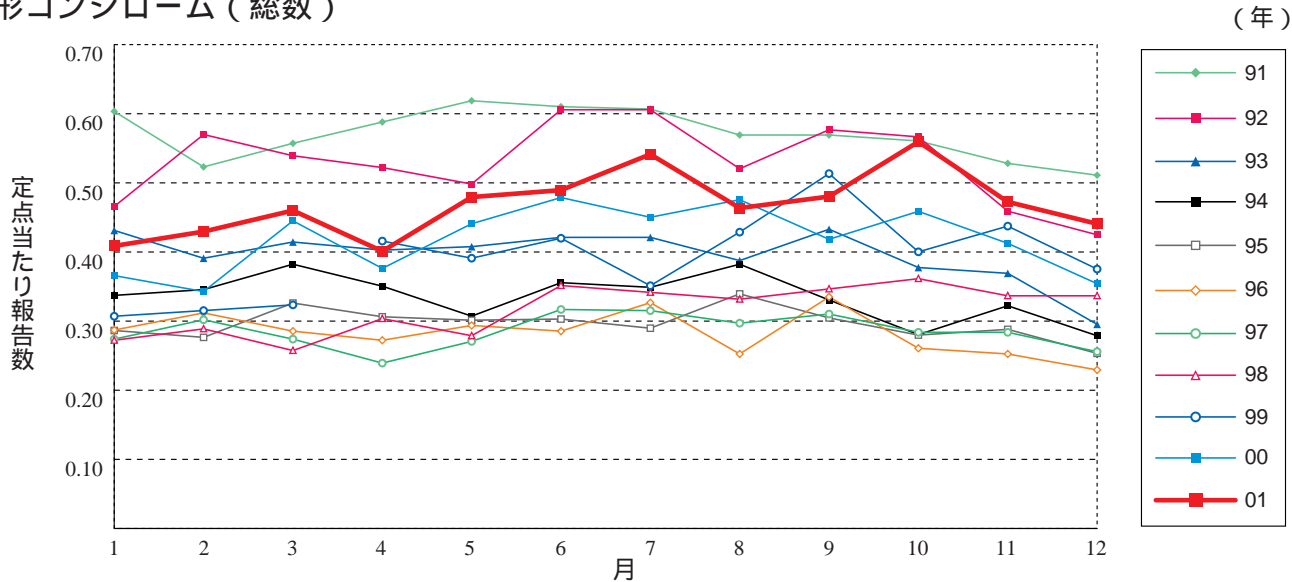
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）



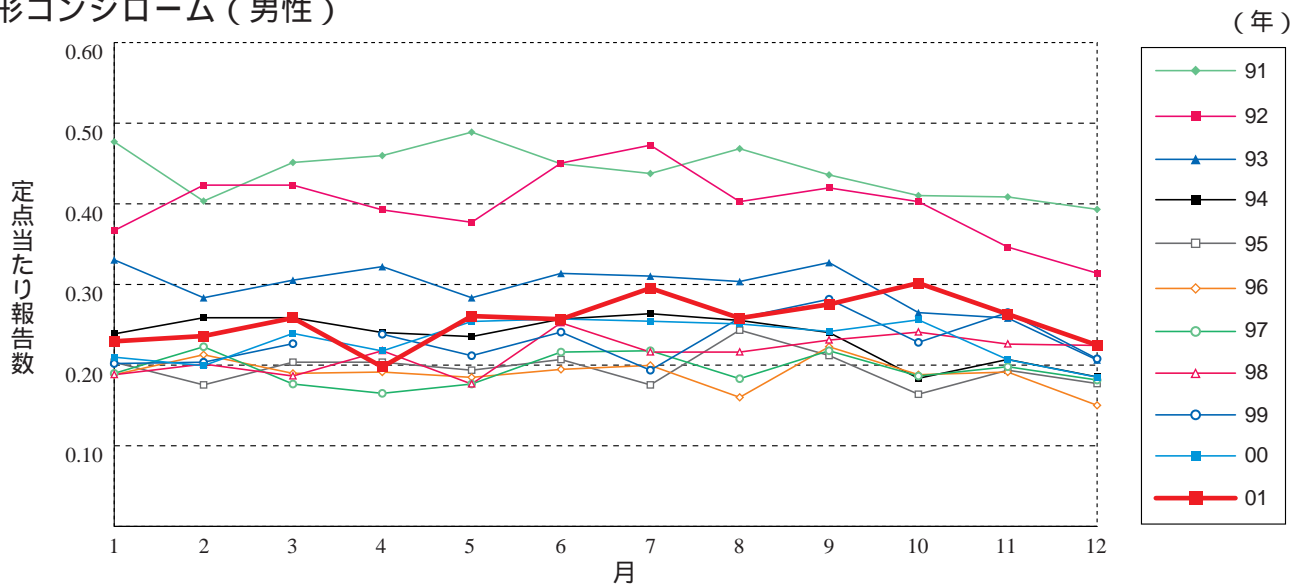
性器ヘルペスウイルス感染症（女性）



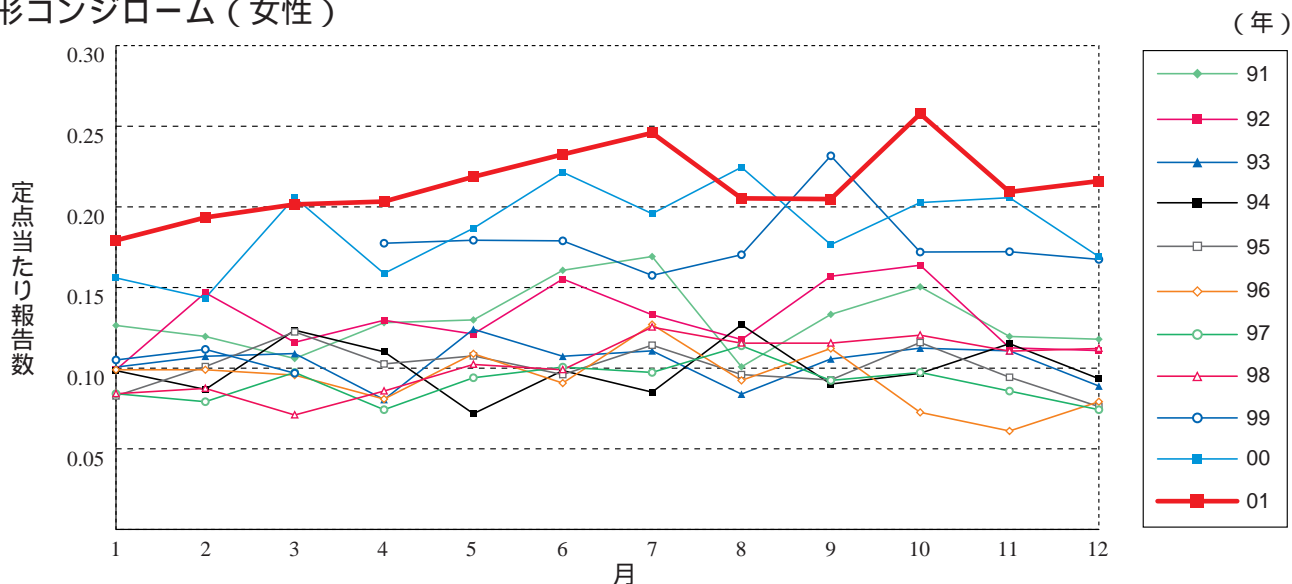
尖形コンジローム (総数)



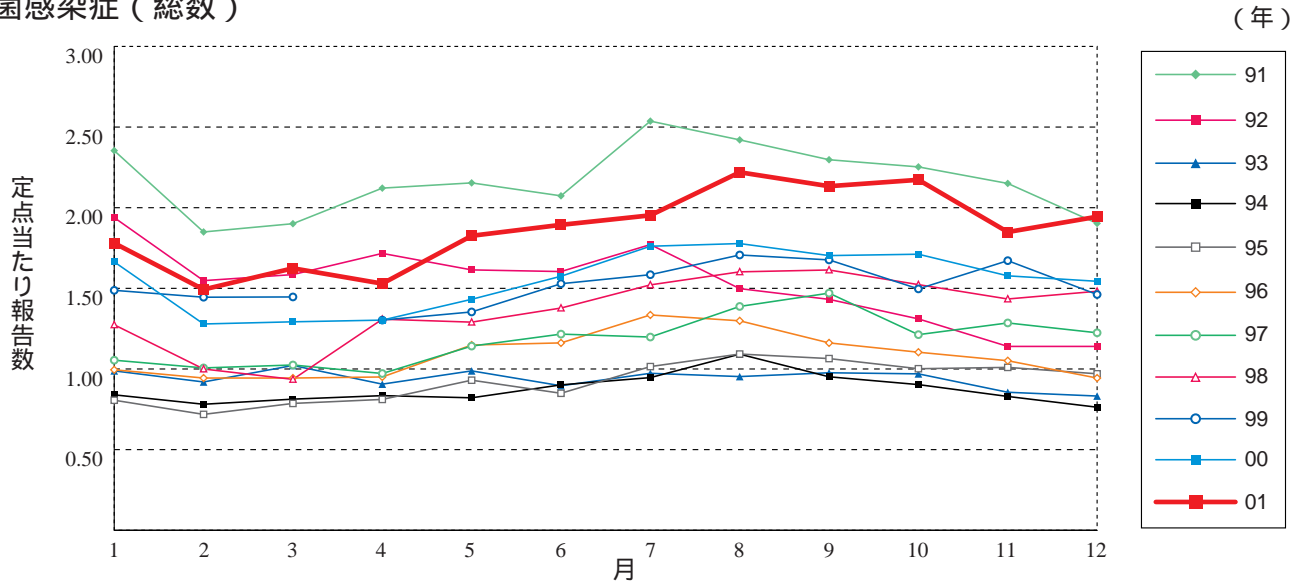
尖形コンジローム (男性)



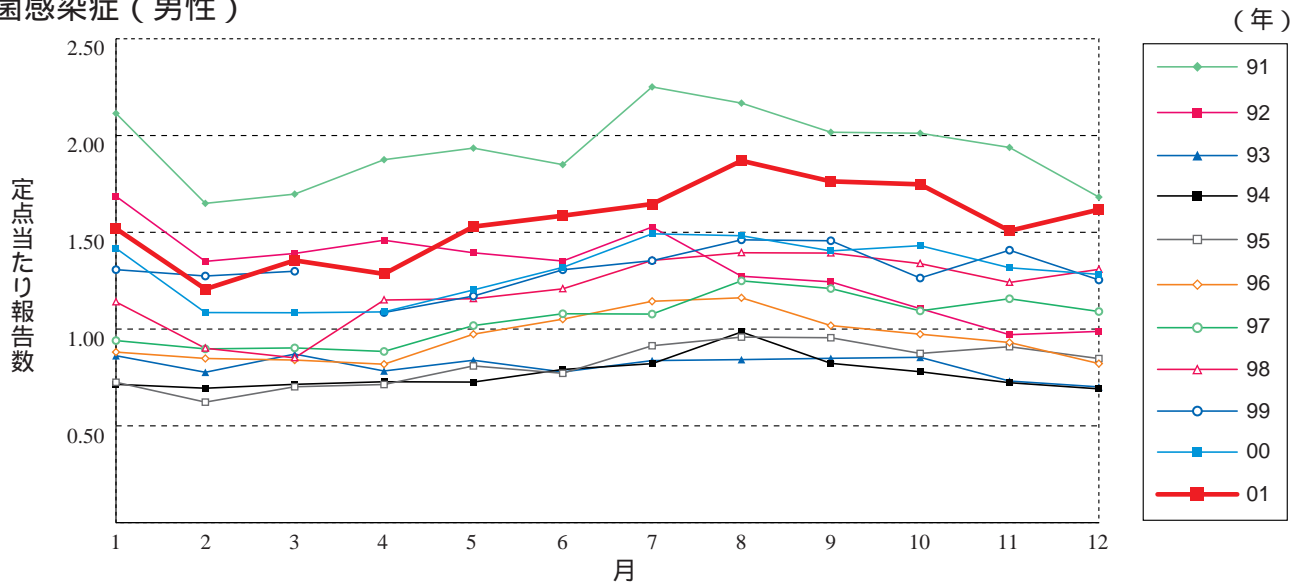
尖形コンジローム (女性)



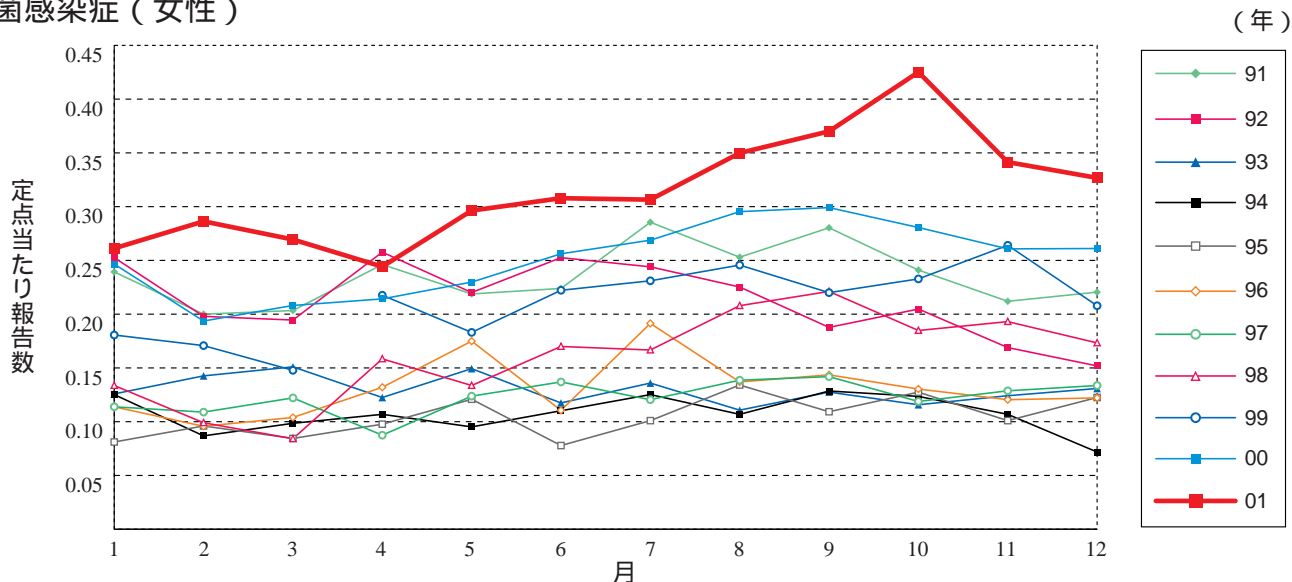
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

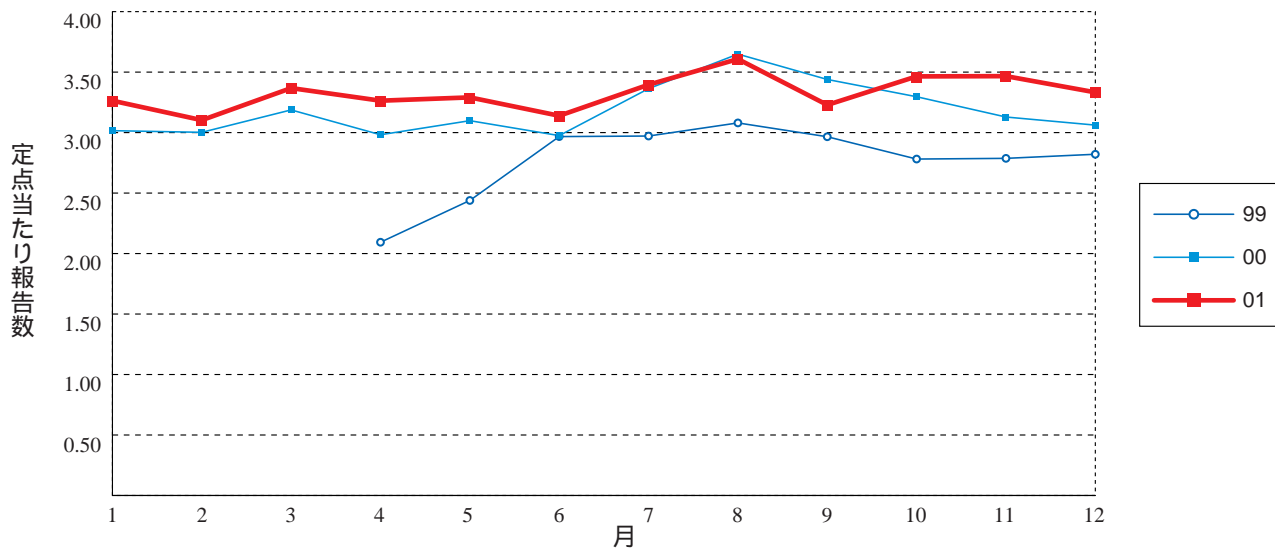


淋菌感染症 (女性)



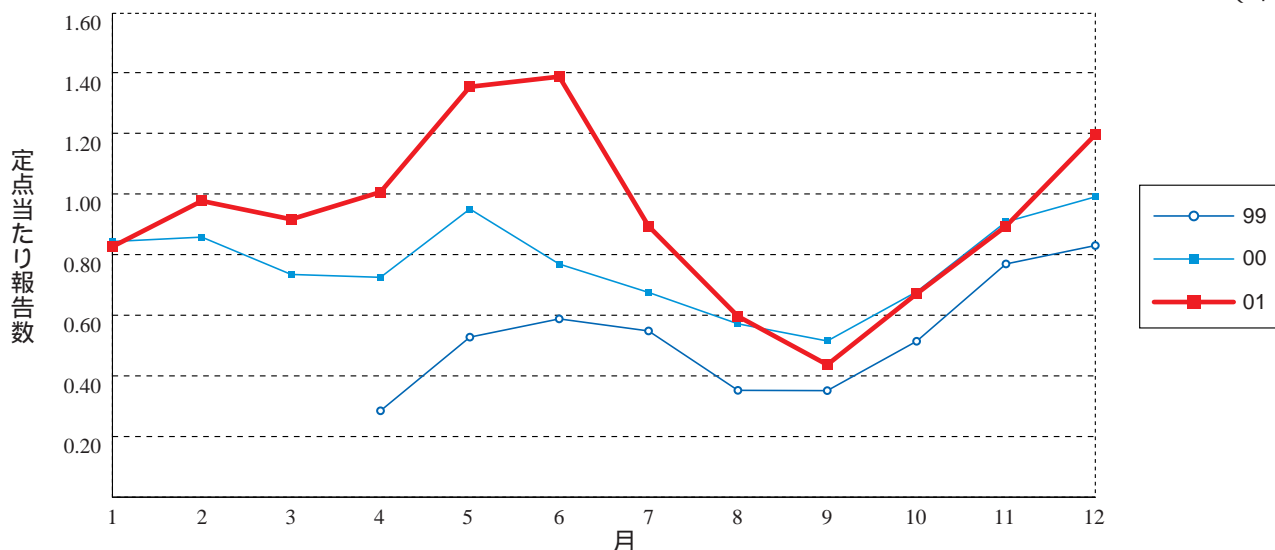
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



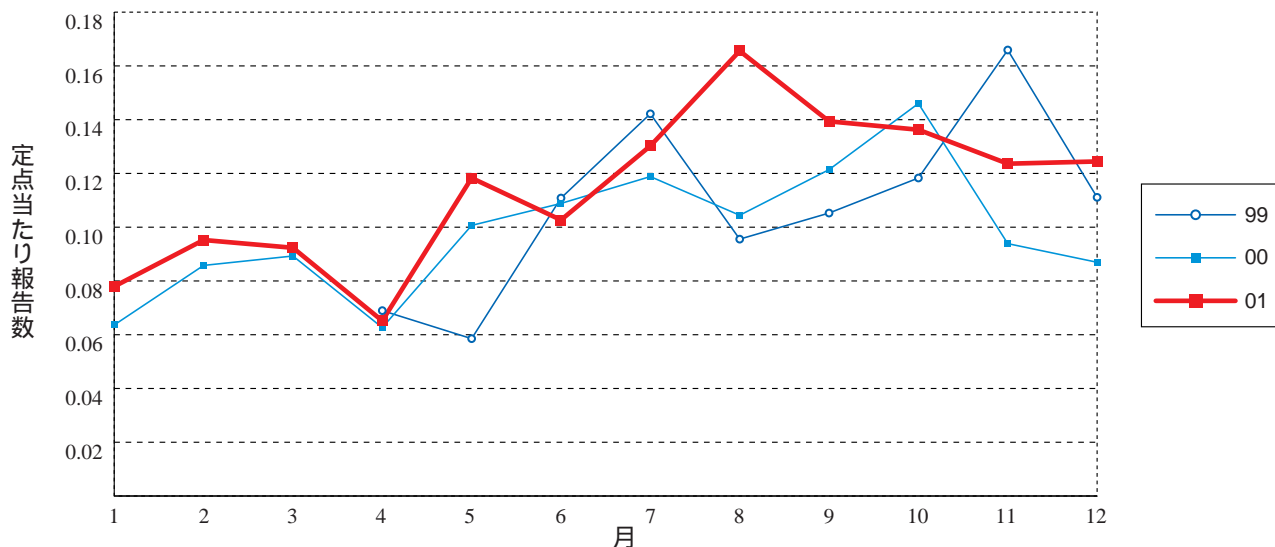
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐緑膿菌感染症

(年)





## 12月のデータ

注)表中の報告数は1月11日集計分であり、その後の報告数は次月以降の累計に反映されます。

第3121表 報告数・定点当り報告数，疾病・都道府県・性別（総数）

平成13年12月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3199	3.51	762	0.84	402	0.44	1773	1.94	1524	3.33	549	1.20	57	0.12
北海道	225	5.23	49	1.14	25	0.58	89	2.07	32	1.45	5	0.23	5	0.23
青森県	21	1.75	4	0.33	1	0.08	12	1.00	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	95	7.31	6	0.46	10	0.77	23	1.77	52	2.60	8	0.40	8	0.40
宮城県	68	3.78	10	0.56	15	0.83	58	3.22	59	4.92	5	0.42	2	0.17
秋田県	31	2.21	2	0.14	4	0.29	7	0.50	14	1.75	15	1.88	-	-
山形県	34	3.40	-	-	2	0.20	9	0.90	44	4.40	19	1.90	-	-
福島県	43	2.69	12	0.75	8	0.50	41	2.56	3	0.43	-	-	-	-
茨城県	88	4.19	13	0.62	6	0.29	45	2.14	9	0.82	-	-	-	-
栃木県	82	5.13	5	0.31	2	0.13	101	6.31	26	3.71	2	0.29	1	0.14
群馬県	156	6.50	24	1.00	10	0.42	63	2.63	44	4.40	15	1.50	-	-
埼玉県	177	3.47	19	0.37	21	0.41	66	1.29	20	2.22	4	0.44	-	-
千葉県	81	2.08	35	0.90	19	0.49	49	1.26	42	4.67	73	8.11	1	0.11
東京都	225	5.63	90	2.25	37	0.93	108	2.70	91	4.55	58	2.90	6	0.30
神奈川県	127	2.12	25	0.42	9	0.15	76	1.27	23	2.09	15	1.36	1	0.09
新潟県	28	1.47	10	0.53	9	0.47	48	2.53	67	5.15	25	1.92	-	-
富山県	14	2.00	7	1.00	3	0.43	7	1.00	22	4.40	24	4.80	1	0.20
石川県	11	1.10	4	0.40	1	0.10	17	1.70	14	2.80	3	0.60	-	-
福井県	12	2.40	3	0.60	2	0.40	6	1.20	28	4.67	8	1.33	-	-
山梨県	16	2.67	1	0.17	-	-	7	1.17	14	1.40	19	1.90	-	-
長野県	62	3.88	16	1.00	14	0.88	24	1.50	60	5.45	5	0.45	-	-
岐阜県	23	1.53	5	0.33	5	0.33	36	2.40	14	2.80	4	0.80	1	0.20
静岡県	92	3.07	11	0.37	7	0.23	28	0.93	38	3.80	23	2.30	-	-
愛知県	186	3.65	50	0.98	21	0.41	132	2.59	62	4.77	-	-	-	-
三重県	31	2.38	6	0.46	5	0.38	17	1.31	50	6.25	3	0.38	1	0.13
滋賀県	18	2.00	1	0.11	1	0.11	6	0.67	36	5.14	1	0.14	-	-
京都府	105	5.00	9	0.43	4	0.19	11	0.52	2	0.29	-	-	-	-
大阪府	264	4.47	170	2.88	68	1.15	208	3.53	31	3.44	26	2.89	-	-
兵庫県	112	2.43	18	0.39	10	0.22	54	1.17	39	2.79	21	1.50	1	0.07
奈良県	19	2.11	2	0.22	1	0.11	10	1.11	30	5.00	9	1.50	1	0.17
和歌山県	8	1.00	5	0.63	4	0.50	4	0.50	20	1.82	3	0.27	-	-
鳥取県	12	2.40	-	-	-	-	4	0.80	21	4.20	3	0.60	-	-
島根県	14	2.33	2	0.33	1	0.17	3	0.50	36	4.50	13	1.63	-	-
岡山県	81	4.76	12	0.71	4	0.24	44	2.59	5	1.00	-	-	1	0.20
広島県	67	2.58	13	0.50	8	0.31	27	1.04	121	5.76	60	2.86	13	0.62
山口県	30	2.50	6	0.50	5	0.42	20	1.67	44	5.50	12	1.50	1	0.13
徳島県	4	0.67	3	0.50	2	0.33	3	0.50	11	1.57	-	-	-	-
香川県	31	3.44	5	0.56	3	0.33	11	1.22	22	4.40	5	1.00	-	-
愛媛県	28	2.55	2	0.18	4	0.36	28	2.55	5	0.83	2	0.33	1	0.17
高知県	9	1.50	1	0.17	-	-	2	0.33	54	6.75	15	1.88	2	0.25
福岡県	214	6.11	33	0.94	29	0.83	143	4.09	18	1.13	2	0.13	1	0.06
佐賀県	10	1.43	4	0.57	-	-	8	1.14	18	3.00	6	1.00	-	-
長崎県	15	1.88	21	2.63	5	0.63	3	0.38	-	-	-	-	2	0.20
熊本県	70	5.00	19	1.36	4	0.29	28	2.00	54	3.60	2	0.13	1	0.07
大分県	9	0.90	11	1.10	3	0.30	13	1.30	49	4.90	24	2.40	1	0.10
宮崎県	54	4.91	5	0.45	1	0.09	24	2.18	29	4.14	2	0.29	4	0.57
鹿児島県	50	3.13	12	0.75	5	0.31	41	2.56	14	1.17	-	-	1	0.08
沖縄県	47	3.92	1	0.08	4	0.33	9	0.75	34	4.86	10	1.43	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別 ( 男 )

平成13年12月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1371	1.50	359	0.39	205	0.22	1475	1.62	1000	2.18	298	0.65	39	0.09
北海道	47	1.09	15	0.35	4	0.09	51	1.19	19	0.86	3	0.14	5	0.23
青森県	11	0.92	1	0.08	-	-	11	0.92	3	0.50	-	-	-	-
岩手県	22	1.69	1	0.08	4	0.31	17	1.31	34	1.70	5	0.25	5	0.25
宮城県	40	2.22	1	0.06	9	0.50	54	3.00	34	2.83	3	0.25	-	-
秋田県	4	0.29	-	-	-	-	2	0.14	9	1.13	10	1.25	-	-
山形県	20	2.00	-	-	1	0.10	9	0.90	31	3.10	12	1.20	-	-
福島県	24	1.50	8	0.50	3	0.19	36	2.25	3	0.43	-	-	-	-
茨城県	46	2.19	6	0.29	5	0.24	41	1.95	4	0.36	-	-	-	-
栃木県	45	2.81	3	0.19	1	0.06	93	5.81	18	2.57	-	-	-	-
群馬県	90	3.75	14	0.58	2	0.08	54	2.25	30	3.00	7	0.70	-	-
埼玉県	50	0.98	7	0.14	7	0.14	56	1.10	16	1.78	3	0.33	-	-
千葉県	37	0.95	21	0.54	14	0.36	41	1.05	33	3.67	34	3.78	-	-
東京都	119	2.98	37	0.93	22	0.55	90	2.25	60	3.00	28	1.40	5	0.25
神奈川県	76	1.27	14	0.23	6	0.10	70	1.17	17	1.55	5	0.45	1	0.09
新潟県	21	1.11	8	0.42	6	0.32	46	2.42	45	3.46	13	1.00	-	-
富山県	5	0.71	5	0.71	1	0.14	7	1.00	11	2.20	6	1.20	-	-
石川県	5	0.50	3	0.30	1	0.10	15	1.50	11	2.20	2	0.40	-	-
福井県	5	1.00	3	0.60	2	0.40	6	1.20	17	2.83	2	0.33	-	-
山梨県	2	0.33	-	-	-	-	6	1.00	8	0.80	10	1.00	-	-
長野県	18	1.13	7	0.44	2	0.13	19	1.19	43	3.91	5	0.45	-	-
岐阜県	19	1.27	3	0.20	5	0.33	33	2.20	8	1.60	4	0.80	1	0.20
静岡県	21	0.70	2	0.07	4	0.13	24	0.80	23	2.30	16	1.60	-	-
愛知県	110	2.16	34	0.67	17	0.33	115	2.25	35	2.69	-	-	-	-
三重県	10	0.77	4	0.31	2	0.15	15	1.15	37	4.63	1	0.13	1	0.13
滋賀県	4	0.44	1	0.11	-	-	6	0.67	22	3.14	-	-	-	-
京都府	13	0.62	1	0.05	3	0.14	7	0.33	1	0.14	-	-	-	-
大阪府	150	2.54	87	1.47	45	0.76	154	2.61	18	2.00	14	1.56	-	-
兵庫県	67	1.46	10	0.22	4	0.09	49	1.07	31	2.21	15	1.07	1	0.07
奈良県	14	1.56	2	0.22	1	0.11	9	1.00	22	3.67	9	1.50	1	0.17
和歌山県	5	0.63	1	0.13	3	0.38	4	0.50	12	1.09	2	0.18	-	-
鳥取県	6	1.20	-	-	-	-	4	0.80	12	2.40	2	0.40	-	-
島根県	5	0.83	1	0.17	1	0.17	3	0.50	25	3.13	7	0.88	-	-
岡山県	17	1.00	2	0.12	-	-	31	1.82	2	0.40	-	-	1	0.20
広島県	23	0.88	5	0.19	1	0.04	19	0.73	78	3.71	35	1.67	7	0.33
山口県	10	0.83	1	0.08	3	0.25	14	1.17	30	3.75	9	1.13	1	0.13
徳島県	3	0.50	3	0.50	2	0.33	3	0.50	8	1.14	-	-	-	-
香川県	9	1.00	4	0.44	2	0.22	10	1.11	10	2.00	3	0.60	-	-
愛媛県	7	0.64	1	0.09	3	0.27	25	2.27	5	0.83	2	0.33	1	0.17
高知県	3	0.50	-	-	-	-	1	0.17	37	4.63	8	1.00	2	0.25
福岡県	110	3.14	17	0.49	9	0.26	123	3.51	15	0.94	-	-	1	0.06
佐賀県	2	0.29	-	-	-	-	8	1.14	13	2.17	3	0.50	-	-
長崎県	3	0.38	8	1.00	1	0.13	3	0.38	-	-	-	-	2	0.20
熊本県	17	1.21	5	0.36	3	0.21	22	1.57	38	2.53	-	-	1	0.07
大分県	6	0.60	6	0.60	3	0.30	12	1.20	31	3.10	13	1.30	1	0.10
宮崎県	22	2.00	2	0.18	-	-	21	1.91	16	2.29	2	0.29	2	0.29
鹿児島県	26	1.63	5	0.31	3	0.19	32	2.00	9	0.75	-	-	-	-
沖縄県	2	0.17	-	-	-	-	4	0.33	16	2.29	5	0.71	-	-



第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成13年12月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1828	2.00	403	0.44	197	0.22	298	0.33	524	1.14	251	0.55	18	0.04
北海道	178	4.14	34	0.79	21	0.49	38	0.88	13	0.59	2	0.09	-	-
青森県	10	0.83	3	0.25	1	0.08	1	0.08	-	-	-	-	-	-
岩手県	73	5.62	5	0.38	6	0.46	6	0.46	18	0.90	3	0.15	3	0.15
宮城県	28	1.56	9	0.50	6	0.33	4	0.22	25	2.08	2	0.17	2	0.17
秋田県	27	1.93	2	0.14	4	0.29	5	0.36	5	0.63	5	0.63	-	-
山形県	14	1.40	-	-	1	0.10	-	-	13	1.30	7	0.70	-	-
福島県	19	1.19	4	0.25	5	0.31	5	0.31	-	-	-	-	-	-
茨城県	42	2.00	7	0.33	1	0.05	4	0.19	5	0.45	-	-	-	-
栃木県	37	2.31	2	0.13	1	0.06	8	0.50	8	1.14	2	0.29	1	0.14
群馬県	66	2.75	10	0.42	8	0.33	9	0.38	14	1.40	8	0.80	-	-
埼玉県	127	2.49	12	0.24	14	0.27	10	0.20	4	0.44	1	0.11	-	-
千葉県	44	1.13	14	0.36	5	0.13	8	0.21	9	1.00	39	4.33	1	0.11
東京都	106	2.65	53	1.32	15	0.38	18	0.45	31	1.55	30	1.50	1	0.05
神奈川県	51	0.85	11	0.18	3	0.05	6	0.10	6	0.55	10	0.91	-	-
新潟県	7	0.37	2	0.11	3	0.16	2	0.11	22	1.69	12	0.92	-	-
富山県	9	1.29	2	0.29	2	0.29	-	-	11	2.20	18	3.60	1	0.20
石川県	6	0.60	1	0.10	-	-	2	0.20	3	0.60	1	0.20	-	-
福井県	7	1.40	-	-	-	-	-	-	11	1.83	6	1.00	-	-
山梨県	14	2.33	1	0.17	-	-	1	0.17	6	0.60	9	0.90	-	-
長野県	44	2.75	9	0.56	12	0.75	5	0.31	17	1.55	-	-	-	-
岐阜県	4	0.27	2	0.13	-	-	3	0.20	6	1.20	-	-	-	-
静岡県	71	2.37	9	0.30	3	0.10	4	0.13	15	1.50	7	0.70	-	-
愛知県	76	1.49	16	0.31	4	0.08	17	0.33	27	2.08	-	-	-	-
三重県	21	1.62	2	0.15	3	0.23	2	0.15	13	1.63	2	0.25	-	-
滋賀県	14	1.56	-	-	1	0.11	-	-	14	2.00	1	0.14	-	-
京都府	92	4.38	8	0.38	1	0.05	4	0.19	1	0.14	-	-	-	-
大阪府	114	1.93	83	1.41	23	0.39	54	0.92	13	1.44	12	1.33	-	-
兵庫県	45	0.98	8	0.17	6	0.13	5	0.11	8	0.57	6	0.43	-	-
奈良県	5	0.56	-	-	-	-	1	0.11	8	1.33	-	-	-	-
和歌山県	3	0.38	4	0.50	1	0.13	-	-	8	0.73	1	0.09	-	-
鳥取県	6	1.20	-	-	-	-	-	-	9	1.80	1	0.20	-	-
島根県	9	1.50	1	0.17	-	-	-	-	11	1.38	6	0.75	-	-
岡山県	64	3.76	10	0.59	4	0.24	13	0.76	3	0.60	-	-	-	-
広島県	44	1.69	8	0.31	7	0.27	8	0.31	43	2.05	25	1.19	6	0.29
山口県	20	1.67	5	0.42	2	0.17	6	0.50	14	1.75	3	0.38	-	-
徳島県	1	0.17	-	-	-	-	-	-	3	0.43	-	-	-	-
香川県	22	2.44	1	0.11	1	0.11	1	0.11	12	2.40	2	0.40	-	-
愛媛県	21	1.91	1	0.09	1	0.09	3	0.27	-	-	-	-	-	-
高知県	6	1.00	1	0.17	-	-	1	0.17	17	2.13	7	0.88	-	-
福岡県	104	2.97	16	0.46	20	0.57	20	0.57	3	0.19	2	0.13	-	-
佐賀県	8	1.14	4	0.57	-	-	-	-	5	0.83	3	0.50	-	-
長崎県	12	1.50	13	1.63	4	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	53	3.79	14	1.00	1	0.07	6	0.43	16	1.07	2	0.13	-	-
大分県	3	0.30	5	0.50	-	-	1	0.10	18	1.80	11	1.10	-	-
宮崎県	32	2.91	3	0.27	1	0.09	3	0.27	13	1.86	-	-	2	0.29
鹿児島県	24	1.50	7	0.44	2	0.13	9	0.56	5	0.42	-	-	1	0.08
沖縄県	45	3.75	1	0.08	4	0.33	5	0.42	18	2.57	5	0.71	-	-

注 )1月22日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成13年12月

	結核
	報告数
総数	2717
北海道	102
青森県	43
岩手県	19
宮城県	26
秋田県	15
山形県	10
福島県	26
茨城県	57
栃木県	39
群馬県	33
埼玉県	146
千葉県	125
東京都	310
神奈川県	162
新潟県	45
富山県	20
石川県	13
福井県	13
山梨県	12
長野県	21
岐阜県	48
静岡県	76
愛知県	158
三重県	44
滋賀県	43
京都府	64
大阪府	287
兵庫県	149
奈良県	25
和歌山県	19
鳥取県	13
島根県	9
岡山県	47
広島県	37
山口県	33
徳島県	20
香川県	12
愛媛県	23
高知県	16
福岡県	133
佐賀県	20
長崎県	35
熊本県	41
大分県	30
宮崎県	18
鹿児島県	47
沖縄県	33



### 3週のデータ

注)表中の報告数は1月28日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年3週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	14	58	-	1	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	4	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	3	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	7	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年3週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	6	28	5	12	1	1	-	-	1	6	-	-	5	14
北海道	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
神奈川県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
大阪府	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	2	13	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年3週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジオイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	1	1	7	2	9	6	17	1	1	-	2	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	8	-	-	-	2	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年3週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	21	-	1	-	-	-	-	-	-	8	18
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	2	5
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年3週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	9	-	-	3	7
北海道	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年3週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	15768	3.40	108	0.04	3840	1.27	25896	8.57	5832	1.93	365	0.12	1721	0.57	2374	0.79	19	0.01
北海道	64	0.28	10	0.07	162	1.12	285	1.97	259	1.79	11	0.08	60	0.41	80	0.55	2	0.01
青森県	56	0.89	-	-	38	0.93	118	2.88	60	1.46	22	0.54	54	1.32	19	0.46	1	0.02
岩手県	25	0.41	-	-	15	0.41	155	4.19	50	1.35	-	-	6	0.16	17	0.46	-	-
宮城県	43	0.51	3	0.06	82	1.61	773	15.16	132	2.59	10	0.20	26	0.51	62	1.22	-	-
秋田県	37	0.67	-	-	50	1.43	194	5.54	59	1.69	3	0.09	120	3.43	20	0.57	2	0.06
山形県	20	0.42	-	-	124	4.13	368	12.27	81	2.70	1	0.03	28	0.93	40	1.33	-	-
福島県	84	1.05	-	-	82	1.78	351	7.63	109	2.37	18	0.39	33	0.72	35	0.76	-	-
茨城県	110	0.93	-	-	88	1.17	606	8.08	73	0.97	14	0.19	41	0.55	28	0.37	3	0.04
栃木県	240	3.43	3	0.07	55	1.20	482	10.48	72	1.57	-	-	37	0.80	35	0.76	-	-
群馬県	888	8.88	1	0.02	92	1.48	440	7.10	112	1.81	3	0.05	18	0.29	33	0.53	-	-
埼玉県	794	3.14	15	0.10	248	1.59	2078	13.32	306	1.96	10	0.06	38	0.24	139	0.89	1	0.01
千葉県	357	1.81	1	0.01	204	1.56	1533	11.70	284	2.17	8	0.06	62	0.47	82	0.63	-	-
東京都	162	0.91	3	0.02	100	0.70	1126	7.93	148	1.04	8	0.06	30	0.21	72	0.51	-	-
神奈川県	333	1.04	14	0.07	254	1.25	1729	8.48	354	1.74	15	0.07	101	0.50	185	0.91	2	0.01
新潟県	41	0.41	9	0.15	115	1.92	590	9.83	160	2.67	24	0.40	25	0.42	42	0.70	-	-
富山県	41	0.85	-	-	85	2.93	332	11.45	56	1.93	11	0.38	35	1.21	20	0.69	-	-
石川県	103	2.15	-	-	21	0.72	322	11.10	63	2.17	3	0.10	68	2.34	21	0.72	-	-
福井県	22	0.69	1	0.05	35	1.59	388	17.64	63	2.86	1	0.05	14	0.64	25	1.14	-	-
山梨県	23	0.59	-	-	27	1.08	125	5.00	36	1.44	1	0.04	7	0.28	11	0.44	-	-
長野県	87	1.01	1	0.02	145	2.69	548	10.15	118	2.19	11	0.20	29	0.54	38	0.70	-	-
岐阜県	147	2.10	-	-	42	0.89	197	4.19	111	2.36	4	0.09	37	0.79	33	0.70	1	0.02
静岡県	316	2.31	4	0.05	116	1.35	877	10.20	207	2.41	9	0.10	40	0.47	81	0.94	1	0.01
愛知県	871	4.56	-	-	244	1.34	1177	6.47	306	1.68	19	0.10	75	0.41	127	0.70	-	-
三重県	271	3.71	-	-	63	1.40	569	12.64	87	1.93	5	0.11	62	1.38	55	1.22	1	0.02
滋賀県	60	1.18	-	-	14	0.45	106	3.42	44	1.42	6	0.19	26	0.84	13	0.42	-	-
京都府	124	0.98	-	-	66	0.87	824	10.84	99	1.30	8	0.11	113	1.49	50	0.66	-	-
大阪府	377	1.24	9	0.05	143	0.73	935	4.79	304	1.56	20	0.10	69	0.35	158	0.81	2	0.01
兵庫県	353	1.78	4	0.03	116	0.91	1138	8.89	327	2.55	16	0.13	82	0.64	146	1.14	-	-
奈良県	88	1.60	1	0.03	16	0.46	272	7.77	65	1.86	5	0.14	24	0.69	16	0.46	-	-
和歌山県	76	1.52	-	-	31	1.00	173	5.58	50	1.61	5	0.16	18	0.58	16	0.52	-	-
鳥取県	98	3.38	5	0.26	48	2.53	261	13.74	68	3.58	2	0.11	9	0.47	16	0.84	-	-
島根県	31	0.82	3	0.13	30	1.30	207	9.00	44	1.91	17	0.74	10	0.43	15	0.65	-	-
岡山県	156	1.86	2	0.04	20	0.37	377	6.98	80	1.48	14	0.26	15	0.28	25	0.46	-	-
広島県	385	3.32	4	0.05	48	0.64	940	12.53	145	1.93	23	0.31	24	0.32	52	0.69	1	0.01
山口県	582	8.31	3	0.06	88	1.80	454	9.27	131	2.67	1	0.02	46	0.94	59	1.20	-	-
徳島県	100	2.63	-	-	7	0.30	182	7.91	18	0.78	1	0.04	8	0.35	23	1.00	-	-
香川県	68	1.33	-	-	19	0.59	408	12.75	65	2.03	10	0.31	15	0.47	32	1.00	-	-
愛媛県	218	3.41	2	0.05	66	1.69	335	8.59	68	1.74	4	0.10	37	0.95	35	0.90	-	-
高知県	282	5.76	3	0.10	53	1.71	297	9.58	54	1.74	5	0.16	17	0.55	16	0.52	-	-
福岡県	2613	13.20	1	0.01	272	2.27	968	8.07	336	2.80	5	0.04	41	0.34	146	1.22	-	-
佐賀県	554	14.21	-	-	36	1.57	189	8.22	70	3.04	1	0.04	7	0.30	35	1.52	-	-
長崎県	841	14.50	-	-	17	0.40	260	6.05	62	1.44	-	-	36	0.84	20	0.47	-	-
熊本県	1094	16.33	-	-	69	1.41	427	8.71	103	2.10	3	0.06	34	0.69	62	1.27	-	-
大分県	923	15.91	-	-	53	1.47	503	13.97	67	1.86	-	-	15	0.42	45	1.25	-	-
宮崎県	843	14.05	-	-	57	1.54	597	16.14	101	2.73	-	-	8	0.22	45	1.22	1	0.03
鹿児島県	652	6.65	4	0.07	62	1.03	648	10.80	163	2.72	7	0.12	21	0.35	40	0.67	1	0.02
沖縄県	115	1.98	2	0.06	22	0.65	32	0.94	62	1.82	1	0.03	-	-	9	0.26	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年3週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	35	0.01	118	0.04	219	0.07	4232	1.40	25	0.04	694	1.10	1	0.00	6	0.01	16	0.03
北海道	1	0.01	2	0.01	23	0.16	143	0.99	-	-	35	1.21	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	4	0.10	10	0.24	60	1.46	-	-	22	2.00	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	3	0.08	38	1.03	1	0.08	12	1.00	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	8	0.16	-	-	94	1.84	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	60	1.71	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	1	0.03	-	-	106	3.53	-	-	5	0.63	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	2	0.04	6	0.13	81	1.76	-	-	25	2.08	-	-	-	-	-	-
茨城県	1	0.01	-	-	13	0.17	95	1.27	-	-	54	3.38	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	1	0.02	3	0.07	79	1.72	1	0.08	15	1.25	-	-	-	-	2	0.29
群馬県	-	-	-	-	6	0.10	51	0.82	-	-	33	2.36	-	-	1	0.10	-	-
埼玉県	2	0.01	13	0.08	21	0.13	138	0.88	2	0.06	24	0.71	-	-	1	0.11	1	0.11
千葉県	3	0.02	1	0.01	25	0.19	162	1.24	5	0.15	45	1.32	-	-	-	-	-	-
東京都	1	0.01	3	0.02	6	0.04	56	0.39	-	-	17	1.21	-	-	1	0.04	1	0.04
神奈川県	1	0.00	4	0.02	2	0.01	194	0.95	-	-	37	0.88	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	1	0.02	144	2.40	-	-	8	0.89	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	1	0.03	1	0.03	94	3.24	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	165	5.69	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	1	0.05	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	59	2.36	-	-	1	0.33	-	-	-	-	4	0.40
長野県	-	-	-	-	-	-	254	4.70	1	0.10	13	1.30	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	3	0.06	12	0.26	80	1.70	1	0.09	8	0.73	-	-	-	-	-	-
静岡県	3	0.03	3	0.03	22	0.26	105	1.22	-	-	14	0.70	-	-	-	-	-	-
愛知県	2	0.01	5	0.03	27	0.15	192	1.05	-	-	28	0.80	-	-	1	0.08	-	-
三重県	-	-	-	-	2	0.04	65	1.44	1	0.08	12	1.00	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	-	-	3	0.10	18	0.58	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
京都府	1	0.01	-	-	2	0.03	81	1.07	-	-	14	0.78	-	-	-	-	-	-
大阪府	2	0.01	13	0.07	2	0.01	167	0.86	2	0.04	41	0.79	-	-	1	0.07	-	-
兵庫県	1	0.01	3	0.02	1	0.01	131	1.02	1	0.03	31	0.86	-	-	-	-	1	0.08
奈良県	-	-	-	-	-	-	50	1.43	-	-	8	0.89	1	0.17	-	-	1	0.17
和歌山県	-	-	-	-	4	0.13	49	1.58	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	10	0.53	5	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1	0.04	14	0.61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	4	0.07	1	0.02	84	1.56	-	-	11	1.00	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	5	0.07	1	0.01	83	1.11	2	0.10	22	1.10	-	-	-	-	2	0.10
山口県	1	0.02	4	0.08	-	-	34	0.69	-	-	14	1.56	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	52	2.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	38	1.19	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	1	0.03	-	-	130	3.33	-	-	16	2.29	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	3	0.10	-	-	9	0.29	-	-	8	2.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	11	0.09	13	0.11	3	0.03	179	1.49	3	0.12	33	1.27	-	-	-	-	-	-
佐賀県	1	0.04	3	0.13	-	-	38	1.65	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	4	0.09	37	0.86	4	0.44	11	1.22	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	10	0.20	1	0.02	44	0.90	-	-	18	2.00	-	-	-	-	2	0.13
大分県	1	0.03	2	0.06	1	0.03	46	1.28	-	-	6	1.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	1	0.03	101	2.73	1	0.25	7	1.75	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	3	0.05	1	0.02	1	0.02	143	2.38	-	-	10	1.67	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	-	-	5	0.15	-	-	183	5.38	-	-	12	1.20	-	-	-	-	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年3週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	106	0.22	4	0.01	2	0.00
北海道	1	0.04	-	-	-	-
青森県	2	0.33	-	-	-	-
岩手県	3	0.15	-	-	-	-
宮城県	4	0.36	-	-	-	-
秋田県	5	0.63	-	-	-	-
山形県	4	0.40	-	-	-	-
福島県	1	0.14	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.11	1	0.11	-	-
千葉県	2	0.15	2	0.15	1	0.08
東京都	1	0.04	-	-	-	-
神奈川県	2	0.18	-	-	1	0.09
新潟県	8	0.57	1	0.07	-	-
富山県	1	0.20	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	-	-
長野県	1	0.09	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	4	0.31	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	4	0.57	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.27	-	-	-	-
兵庫県	5	0.38	-	-	-	-
奈良県	1	0.17	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	4	0.80	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	7	1.17	-	-	-	-
広島県	9	0.43	-	-	-	-
山口県	3	0.38	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	6	1.00	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	5	0.33	-	-	-	-
佐賀県	2	0.33	-	-	-	-
長崎県	5	0.38	-	-	-	-
熊本県	4	0.27	-	-	-	-
大分県	2	0.20	-	-	-	-
宮崎県	1	0.14	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第3号 平成14年2月4日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 <厚生労働省>  
<http://www.forth.go.jp/>  
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。